

第3章 施設サービス利用者調査

第3章 施設サービス利用者調査

1 回答者の属性

(1) 性別

問1 性別を教えてください。[1つに〇]

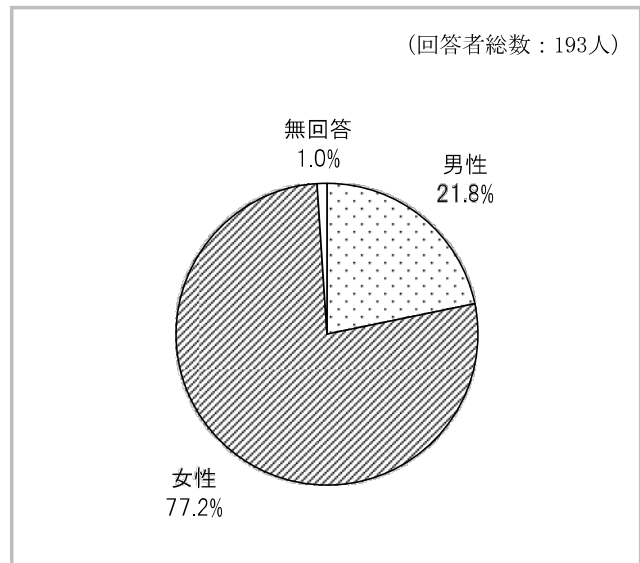
「男性」が21.8%、「女性」が77.2%

性別については、「男性」が21.8%、「女性」が77.2%となっています。

表 性別 単位：人（%）

項目	回答数（構成比）
回答者総数（人）	193
男性	42（21.8）
女性	149（77.2）
無回答	2（1.0）

図 性別



(2) 年齢

問2 12月1日現在、何歳ですか。[1つに○]

前期高齢者は 7.3%、後期高齢者は 89.6%

年齢構成をみると、「40～64歳」が 1.6% となっています。

また、「65～69歳」が 1.0%、「70～74歳」が 6.2%で、前期高齢者の割合は 7.3% となっています。

さらに、「75～79歳」が 9.3%、「80～84歳」が18.7%、「85～89歳」が25.9%、「90歳以上」が35.8%で、後期高齢者の割合は 89.6%となっています。

図 年齢

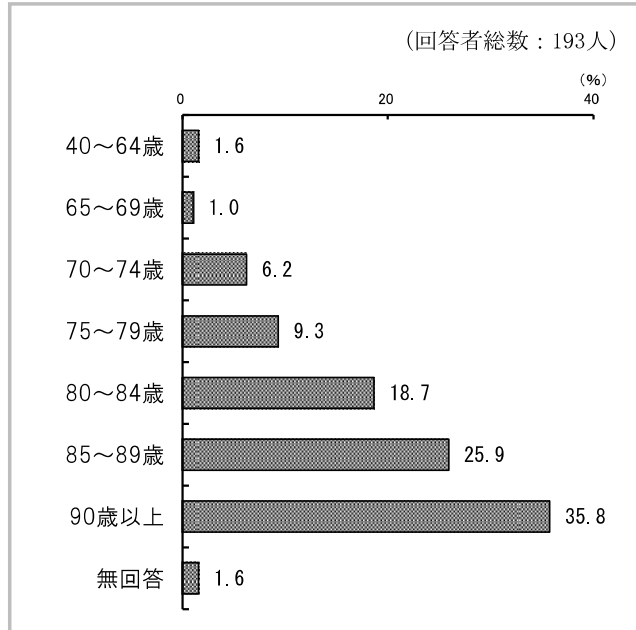
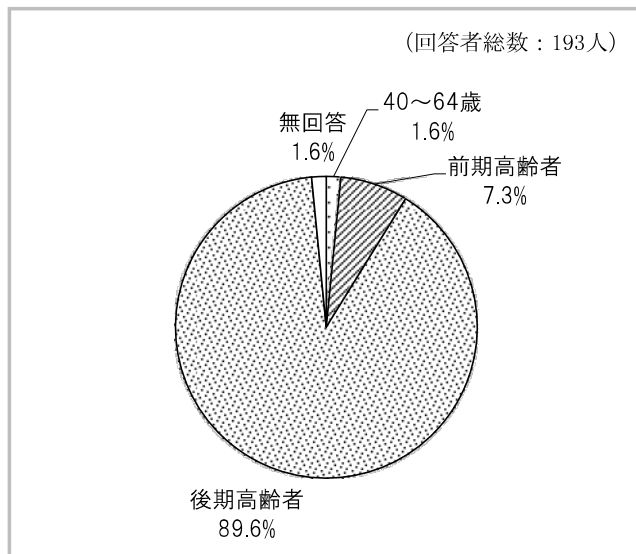


表 年齢 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	193
40～64歳	3 (1.6)
前期高齢者	14 (7.3)
65～69歳	2 (1.0)
70～74歳	12 (6.2)
後期高齢者	173 (89.6)
75～79歳	18 (9.3)
80～84歳	36 (18.7)
85～89歳	50 (25.9)
90歳以上	69 (35.8)
無回答	3 (1.6)

図 前期高齢者・後期高齢者別



(3) 介護度

問3 現在の介護度はいくつですか。[1つに○]

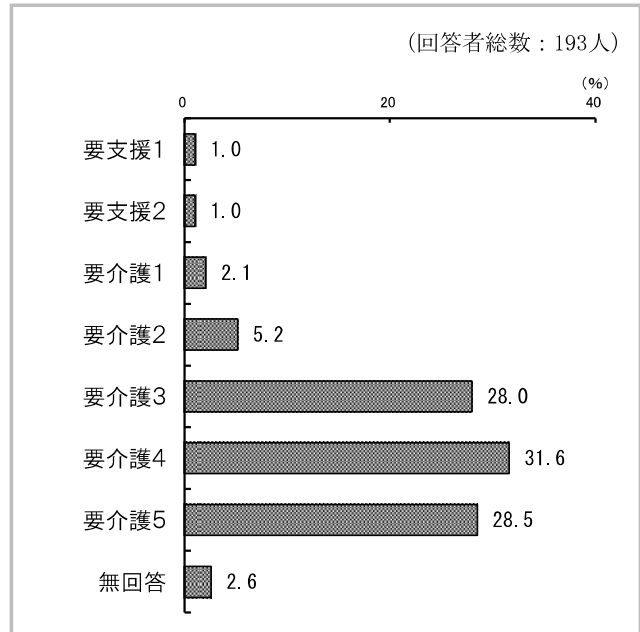
要介護3～5が88.1%

介護度については、「要介護3」が28.0%、「要介護4」が31.6%、「要介護5」が28.5%で、これらを合わせると要介護3～5が88.1%となっています。

表 介護度 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	193
項目	回答数 (構成比)
要支援1	2 (1.0)
要支援2	2 (1.0)
要介護1	4 (2.1)
要介護2	10 (5.2)
要介護3	54 (28.0)
要介護4	61 (31.6)
要介護5	55 (28.5)
無回答	5 (2.6)

図 介護度



(4) 認知症の診断

問4 医師に「認知症」と診断されていますか。[1つに○]

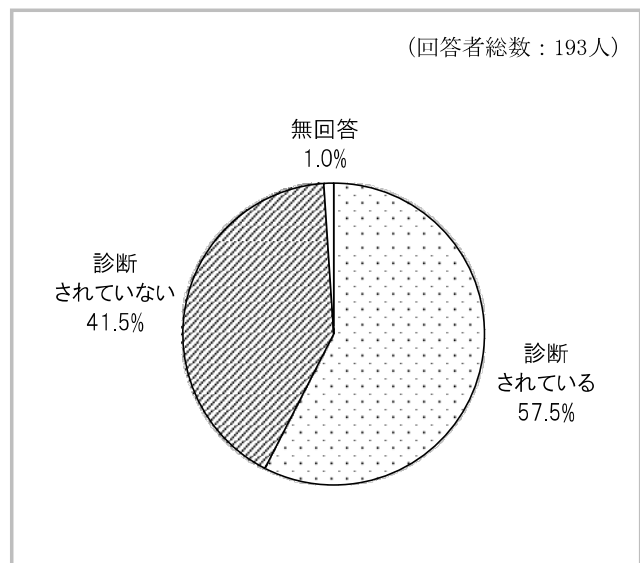
「診断されている」が57.5%

医師に「認知症」と診断されているかについては、「診断されている」が57.5%、「診断されていない」が41.5%となっています。

表 認知症の診断 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	193
項目	回答数 (構成比)
診断されている	111 (57.5)
診断されていない	80 (41.5)
無回答	2 (1.0)

図 認知症の診断



(5) 入所前の居住地区

問5 現在の施設等に入所する以前は、どちらの地区にお住まいでしたか。[1つに○]

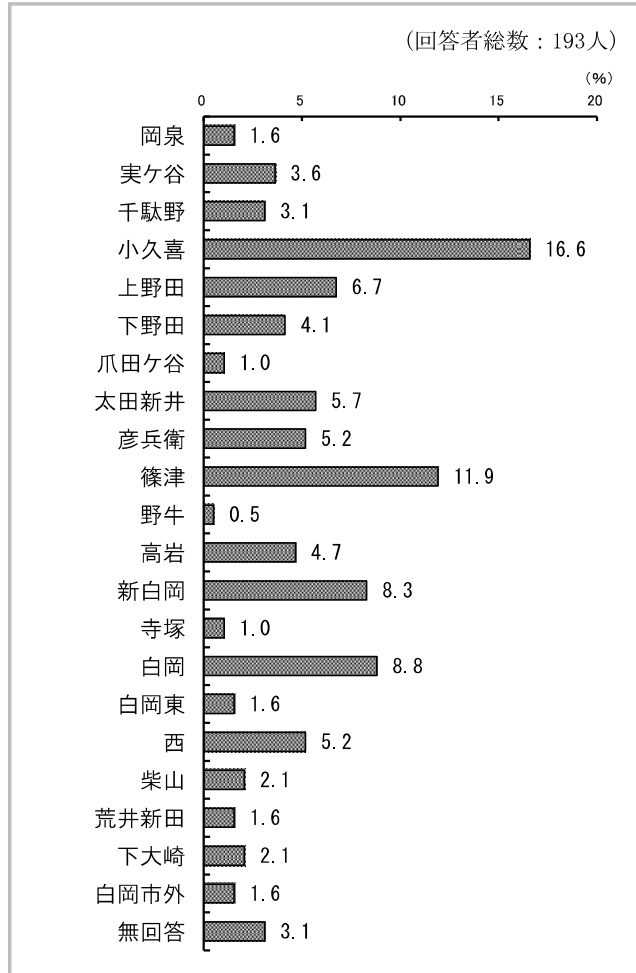
「小久喜」が16.6%、「篠津」が11.9%

入所する以前の居住地区については、「小久喜」が16.6%、「篠津」が11.9%となっています。

表 入所前の居住地区 単位：人（%）

回答者総数（人）	193
項目	回答数（構成比）
日勝圏域	92 (47.7)
日勝地域	92 (47.7)
岡泉	3 (1.6)
実ヶ谷	7 (3.6)
千駄野	6 (3.1)
小久喜	32 (16.6)
上野田	13 (6.7)
下野田	8 (4.1)
爪田ヶ谷	2 (1.0)
太田新井	11 (5.7)
彦兵衛	10 (5.2)
篠津・大山圏域	92 (47.7)
篠津地域	81 (42.0)
篠津	23 (11.9)
野牛	1 (0.5)
高岩	9 (4.7)
新白岡	16 (8.3)
寺塚	2 (1.0)
白岡	17 (8.8)
白岡東	3 (1.6)
西	10 (5.2)
大山地域	11 (5.7)
柴山	4 (2.1)
荒井新田	3 (1.6)
下大崎	4 (2.1)
白岡市外	3 (1.6)
無回答	6 (3.1)

図 入所前の居住地区



入所前の居住地区を地域別にまとめると、「日勝地域」が47.7%、「篠津地域」が42.0%、「大山地域」が5.7%となっています。

さらに日常生活圏域で見ると、「日勝圏域」と「篠津・大山圏域」がそれぞれ47.7%となっています。

図 地域

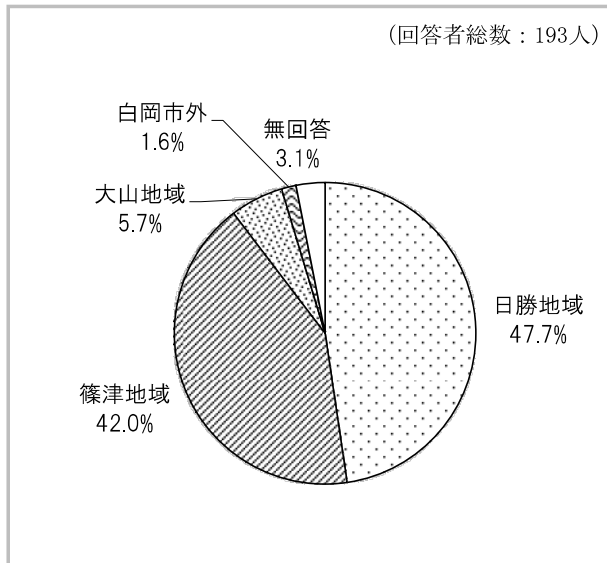
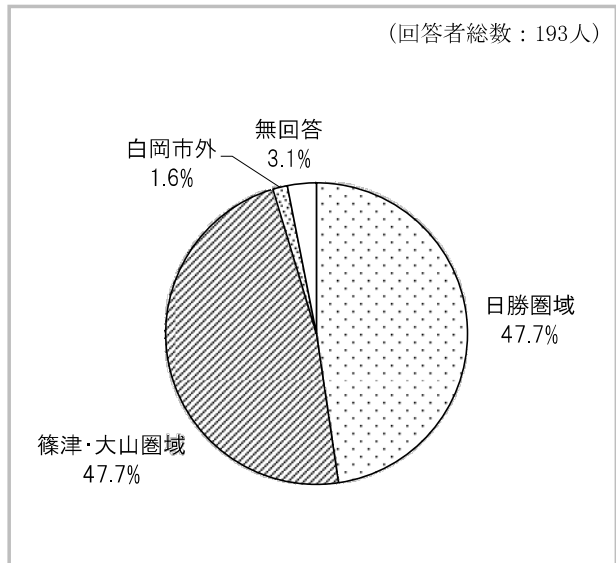


図 日常生活圏域



2 入所施設について

(1) 入所している施設の種類

問6 入所している施設の種類はどれですか。[1つに○]

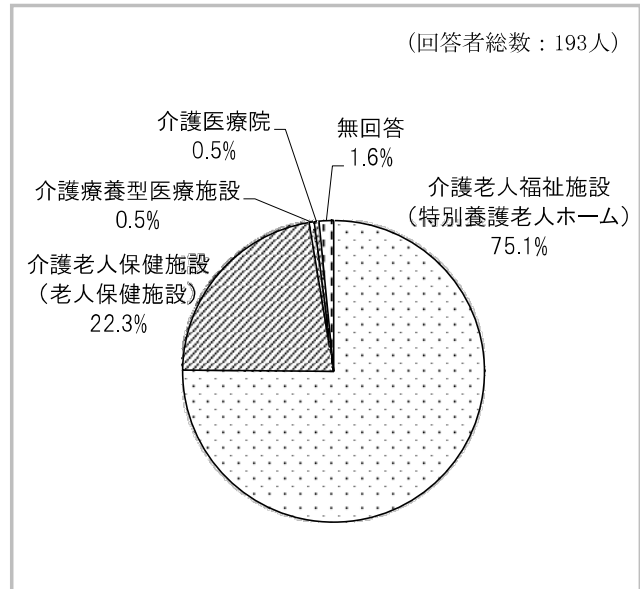
特別養護老人ホームが75.1%

入所している施設の種類については、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が75.1%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が22.3%となっています。

表 入所している施設の種類 単位：人（%）

回答者総数（人）	193
項目	回答数（構成比）
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	145（75.1）
介護老人保健施設 （老人保健施設）	43（22.3）
介護療養型医療施設	1（0.5）
介護医療院	1（0.5）
無回答	3（1.6）

図 入所している施設の種類



(2) 入所期間

問7 現在の施設に入所されてから、どのくらいたちますか。[1つに○]

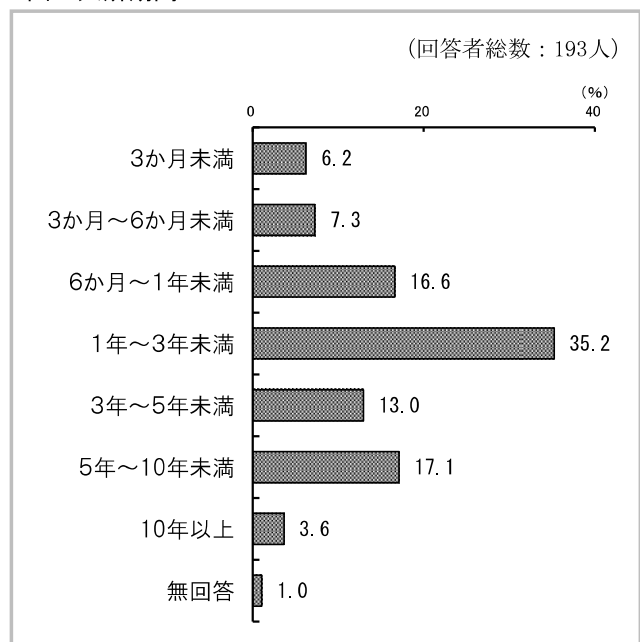
「1年～3年未満」が35.2%

現在の施設に入所してからの期間については、「1年～3年未満」が35.2%、「5年～10年未満」が17.1%、「6か月～1年未満」が16.6%となっています。

表 入所期間 単位：人（%）

回答者総数（人）	193
項目	回答数（構成比）
3か月未満	12（6.2）
3か月～6か月未満	14（7.3）
6か月～1年未満	32（16.6）
1年～3年未満	68（35.2）
3年～5年未満	25（13.0）
5年～10年未満	33（17.1）
10年以上	7（3.6）
無回答	2（1.0）

図 入所期間



(3) 入所した理由

問8 どのような理由で入所しましたか。[主なものを3つ以内で○]

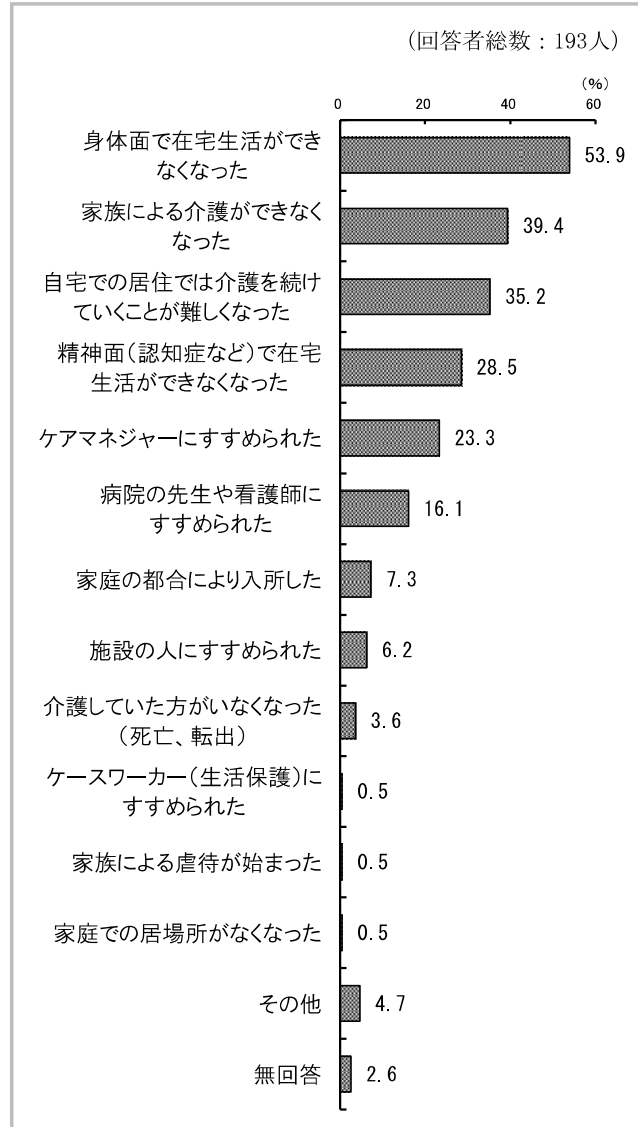
「身体面で在宅生活ができなくなった」が53.9%

入所した理由については、「身体面で在宅生活ができなくなった」が53.9%で、次いで「家族による介護ができなくなった」が39.4%、「自宅での居住では介護を続けていくことが難しくなった」が35.2%となっています。

表 入所した理由 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	193
項目	回答数 (構成比)
身体面で在宅生活ができなくなった	104 (53.9)
家族による介護ができなくなった	76 (39.4)
自宅での居住では介護を続けていくことが難しくなった	68 (35.2)
精神面(認知症など)で在宅生活ができなくなった	55 (28.5)
ケアマネジャーにすすめられた	45 (23.3)
病院の先生や看護師にすすめられた	31 (16.1)
家庭の都合により入所した	14 (7.3)
施設の人にすすめられた	12 (6.2)
介護していた方がいなくなった(死亡、転出)	7 (3.6)
ケースワーカー(生活保護)にすすめられた	1 (0.5)
家族による虐待が始まった	1 (0.5)
家庭での居場所がなくなった	1 (0.5)
その他	9 (4.7)
無回答	5 (2.6)

図 入所した理由



【 認知症の診断別 】

入所した理由を認知症の診断別にみると、認知症の診断にかかわらず「身体面で在宅生活ができなくなった」が最も多くなっていますが、認知症と診断されていない場合では割合が60.0%と多くなっています。また、認知症と診断されている場合は、「家族による介護ができなくなった」と「精神面（認知症など）で在宅生活ができなくなった」がそれぞれ45.0%と多くなっています。

表 認知症の診断別にみた入所した理由 単位：人（%）

項目	全 体	認知症の診断	
		診断されている	診断されていない
回答者総数（人）	193	111	80
身体面で在宅生活ができなくなった	104 (53.9)	54 (48.6)	48 (60.0)
家族による介護ができなくなった	76 (39.4)	50 (45.0)	26 (32.5)
自宅での居住では介護を続けていくことが難しくなった	68 (35.2)	41 (36.9)	26 (32.5)
精神面（認知症など）で在宅生活ができなくなった	55 (28.5)	50 (45.0)	5 (6.3)
ケアマネジャーにすすめられた	45 (23.3)	30 (27.0)	15 (18.8)
病院の先生や看護師にすすめられた	31 (16.1)	11 (9.9)	20 (25.0)
家庭の都合により入所した	14 (7.3)	9 (8.1)	4 (5.0)
施設の人にすすめられた	12 (6.2)	5 (4.5)	7 (8.8)
介護していた方がいなくなった（死亡、転出）	7 (3.6)	5 (4.5)	2 (2.5)
ケースワーカー（生活保護）にすすめられた	1 (0.5)	0 (0.0)	1 (1.3)
家族による虐待が始まった	1 (0.5)	1 (0.9)	0 (0.0)
家庭での居場所がなくなった	1 (0.5)	1 (0.9)	0 (0.0)
その他	9 (4.7)	4 (3.6)	5 (6.3)
無回答	5 (2.6)	1 (0.9)	4 (5.0)

※ 認知症診断の無回答者数 2人を除いている。

3 施設のサービスについて

(1) 施設入所によってもたらす効果

問9 今の施設に入ってから、あなたの日常生活はどう変わりましたか。[各項目ごとに1つずつ]

『生活習慣』では、「規則正しくなった」という割合は67.4%

施設に入所してからの日常生活の変化について、項目ごとにたずねました。その結果、『生活習慣』では、「規則正しくなった」という割合は67.4%となっています。また、『生活の張り』では「張りが出た」が24.4%、『気持ち』では「前向きになった」が26.9%、『服装・身だしなみ』では「気にするようになった」が15.0%となっています。

図 施設入所によってもたらす効果

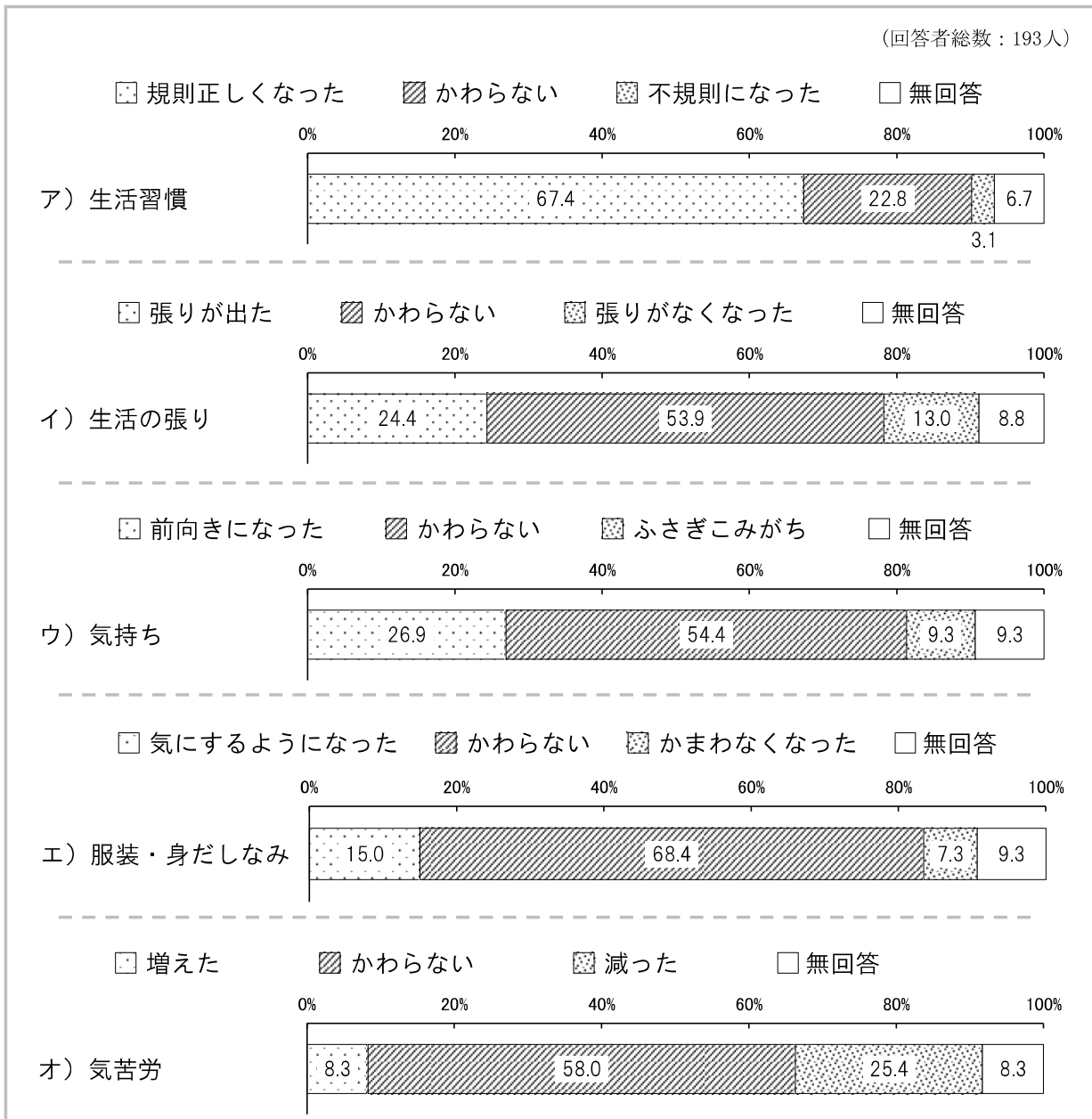


表 施設入所によってもたらす効果

回答者総数：193人 単位：人（％）

ア) 生活習慣	規則正しくなった 130 (67.4)	かわらない 44 (22.8)	不規則になった 6 (3.1)	無回答 13 (6.7)
イ) 生活の張り	張りが出た 47 (24.4)	かわらない 104 (53.9)	張りがなくなった 25 (13.0)	無回答 17 (8.8)
ウ) 気持ち	前向きになった 52 (26.9)	かわらない 105 (54.4)	ふさぎこみがち 18 (9.3)	無回答 18 (9.3)
エ) 服装・身だしなみ	気にするようになった 29 (15.0)	かわらない 132 (68.4)	かまわなくなった 14 (7.3)	無回答 18 (9.3)
オ) 気苦労	増えた 16 (8.3)	かわらない 112 (58.0)	減った 49 (25.4)	無回答 16 (8.3)

(2) 施設サービスの項目別満足度

問10 施設のサービスについて、満足していますか。[各項目ごとに1つずつ]

『健康面への配慮について』と『職員の対応について』では、満足している人は72.0%

施設サービスの満足度について、項目ごとにたずねました。その結果、「満足である」という割合は、『健康面への配慮について』と『職員の対応について』でそれぞれ72.0%となっていますが、『レクリエーションやクラブ活動について』では「満足である」が46.6%となっています。

図 施設サービスの項目別満足度

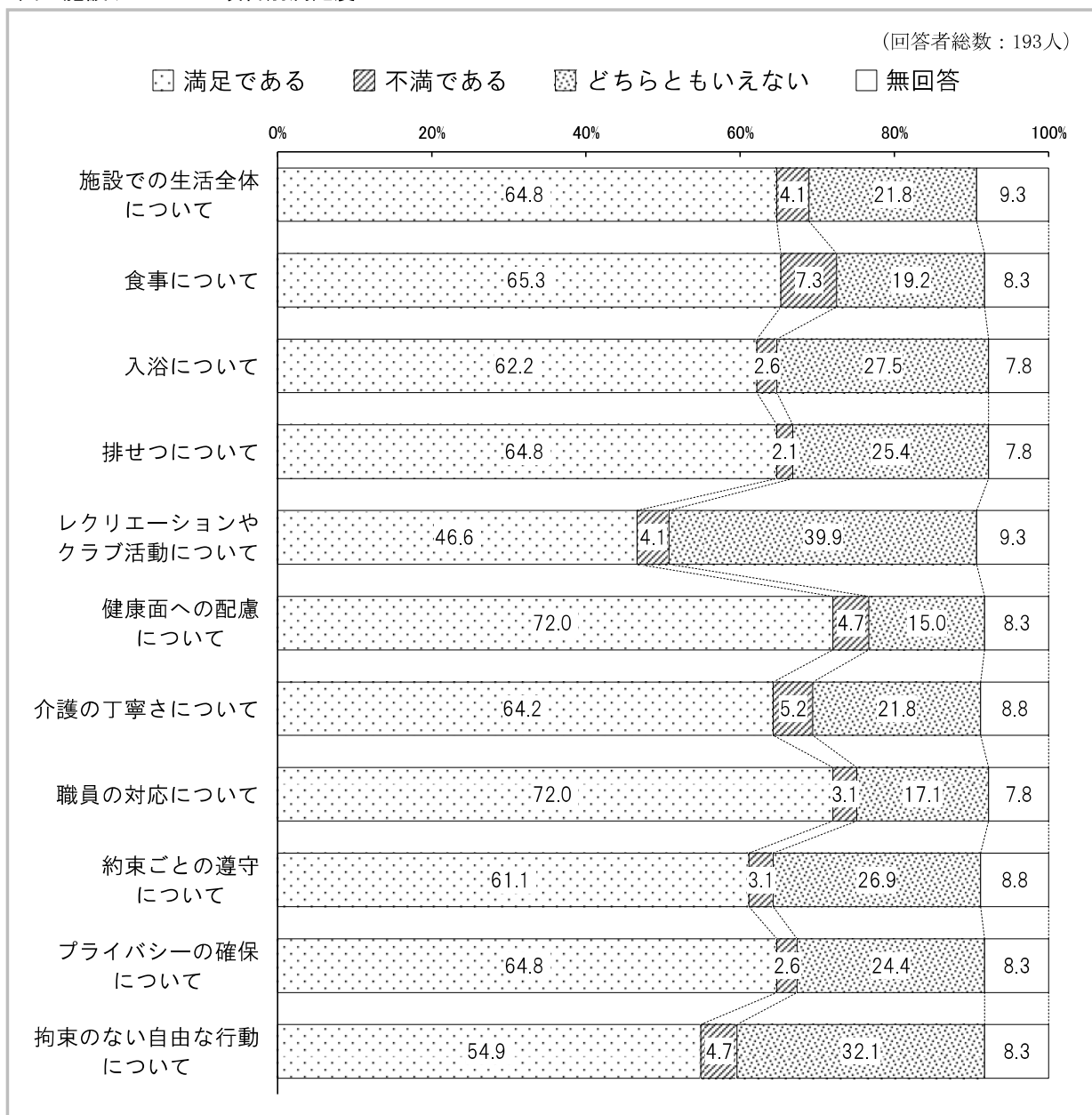


表 施設サービスの項目別満足度

回答者総数：193人 単位：人（%）

項目	満足である	不満である	どちらとも いえない	無回答
ア) 施設での生活全体について	125 (64.8)	8 (4.1)	42 (21.8)	18 (9.3)
イ) 食事について	126 (65.3)	14 (7.3)	37 (19.2)	16 (8.3)
ウ) 入浴について	120 (62.2)	5 (2.6)	53 (27.5)	15 (7.8)
エ) 排せつについて	125 (64.8)	4 (2.1)	49 (25.4)	15 (7.8)
オ) レクリエーションやクラブ活動について	90 (46.6)	8 (4.1)	77 (39.9)	18 (9.3)
カ) 健康面への配慮について	139 (72.0)	9 (4.7)	29 (15.0)	16 (8.3)
キ) 介護の丁寧さについて	124 (64.2)	10 (5.2)	42 (21.8)	17 (8.8)
ク) 職員の対応について	139 (72.0)	6 (3.1)	33 (17.1)	15 (7.8)
ケ) 約束ごとの遵守について	118 (61.1)	6 (3.1)	52 (26.9)	17 (8.8)
コ) プライバシーの確保について	125 (64.8)	5 (2.6)	47 (24.4)	16 (8.3)
サ) 拘束のない自由な行動について	106 (54.9)	9 (4.7)	62 (32.1)	16 (8.3)

(3) 施設サービスの全般の満足度

問11 現在、入所している施設のサービス全般の満足度についておたずねします。[1つに○]

「満足である」が68.4%

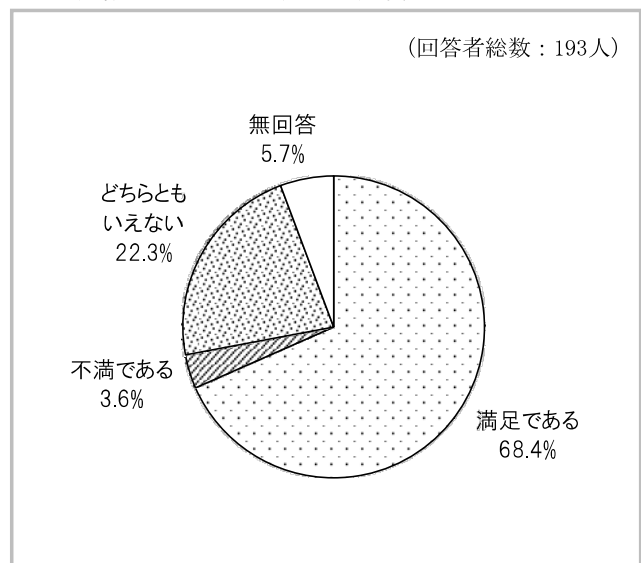
現在、入所している施設のサービス全般の満足度については、「満足である」が68.4%、「不満である」が3.6%、「どちらともいえない」が22.3%となっています。

表 施設サービスの全般の満足度

単位：人（%）

項目	回答数（構成比）
回答者総数（人）	193
満足である	132 (68.4)
不満である	7 (3.6)
どちらともいえない	43 (22.3)
無回答	11 (5.7)

図 施設サービスの全般の満足度



(4) 利用料の評価

問12 現在の利用料についてどのように思いますか。[1つに○]

「適当だと思う」が46.6%

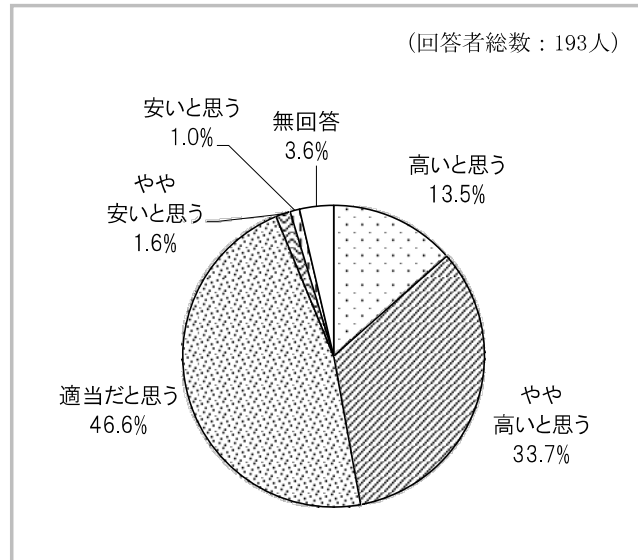
現在の利用料については、「適当だと思う」が46.6%となっています。

一方、「高いと思う」が13.5%、「やや高いと思う」が33.7%で、これらを合わせると利用料が高いと感じている人は47.2%となっています。

表 利用料の評価 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	193
項目	回答数 (構成比)
高いと思う	26 (13.5)
やや高いと思う	65 (33.7)
適当だと思う	90 (46.6)
やや安いと思う	3 (1.6)
安いと思う	2 (1.0)
無回答	7 (3.6)

図 利用料の評価



(5) 要望への対応の評価

問13 施設はあなたの要望を聞いてくれますか。[1つに○]

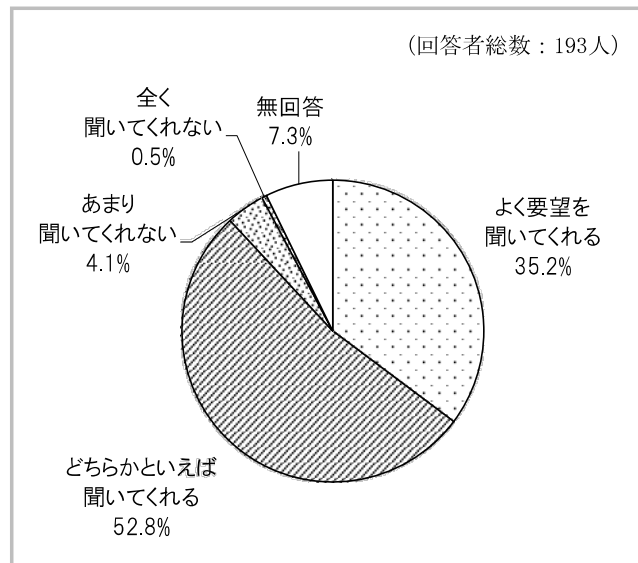
要望を聞いてくれるが88.0%

施設が要望を聞いてくれるかについては、「よく要望を聞いてくれる」が35.2%、「どちらかといえば聞いてくれる」が52.8%で、これらを合わせると要望を聞いてくれると評価している人が88.0%となっています。

表 要望への対応の評価 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	193
項目	回答数 (構成比)
よく要望を聞いてくれる	68 (35.2)
どちらかといえば聞いてくれる	102 (52.8)
あまり聞いてくれない	8 (4.1)
全く聞いてくれない	1 (0.5)
無回答	14 (7.3)

図 要望への対応の評価



(6) 施設に不満があるときの相談先

問14 施設に不満があるとき、誰に相談しますか。[あてはまるものすべてに○]

「施設の職員」が36.3%

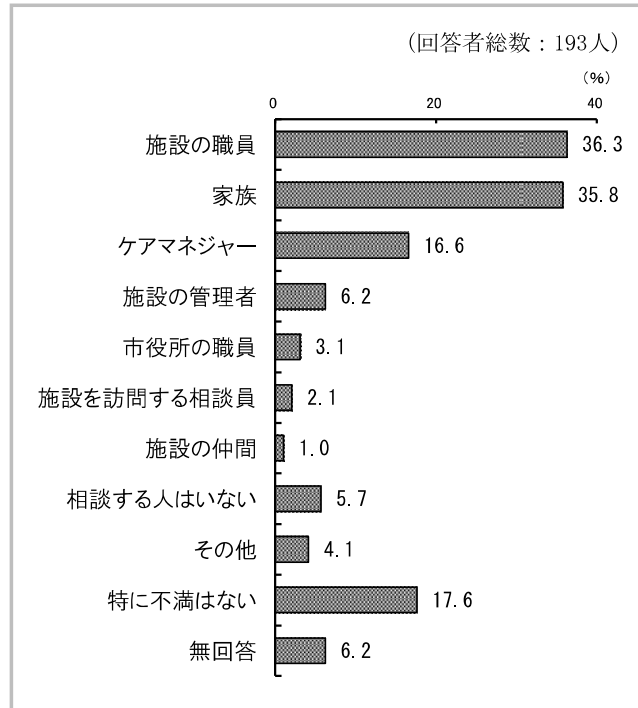
施設に不満があるときに誰に相談するかについては、「施設の職員」が36.3%で、次いで「家族」が35.8%、「ケアマネジャー」が16.6%となっています。

表 施設に不満があるときの相談先

単位：人（%）

回答者総数（人）	193
項目	回答数（構成比）
施設の職員	70 (36.3)
家族	69 (35.8)
ケアマネジャー	32 (16.6)
施設の管理者	12 (6.2)
市役所の職員	6 (3.1)
施設を訪問する相談員	4 (2.1)
施設の仲間	2 (1.0)
相談する人はいない	11 (5.7)
その他	8 (4.1)
特に不満はない	34 (17.6)
無回答	12 (6.2)

図 施設に不満があるときの相談先



(7) サービスの改善の有無と改善点

問15 施設でのサービスについて改善してほしいことはありますか。[1つに〇]

改善してほしいことがある人は25.4%

施設でのサービスについて改善してほしいことがあるかについては、「ある」が25.4%となっています。

改善してほしいことの具体的な内容として、面会に関すること、施設と家族のきめ細かいやりとり、食事の内容、声かけ、レクリエーション、職員体制の充実などの記載がありました。

図 サービスの改善の有無と改善点

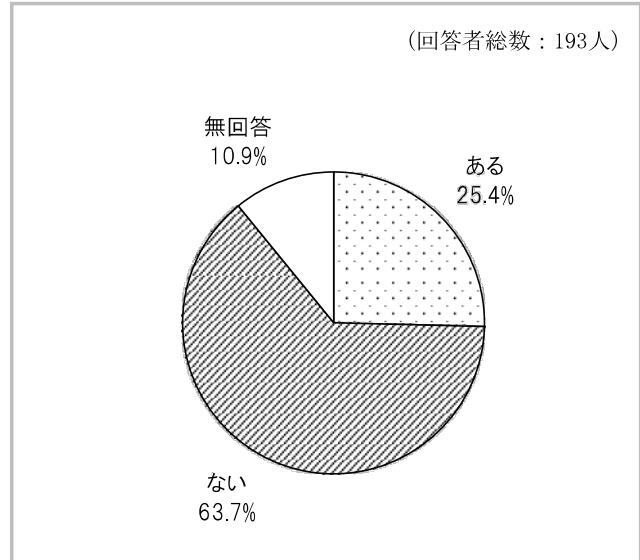


表 サービスの改善の有無と改善点

単位：人 (%)

回答者総数 (人)	193
項目	回答数 (構成比)
ある	49 (25.4)
ない	123 (63.7)
無回答	21 (10.9)

4 今後の意向や要望について

(1) 退所や他の施設への入所希望

問16 施設からの退所や他の施設への入所を希望していますか。[1つに○]

「退所や他の施設への入所は考えていない」が71.0%

施設からの退所や他の施設への入所を希望しているかについては、「退所や他の施設への入所は考えていない」が71.0%となっています。また、「他の施設へ入所申し込みをしている」は7.8%、「退所して自宅等に戻りたい」は4.7%となっています。

図 退所や他の施設への入所希望

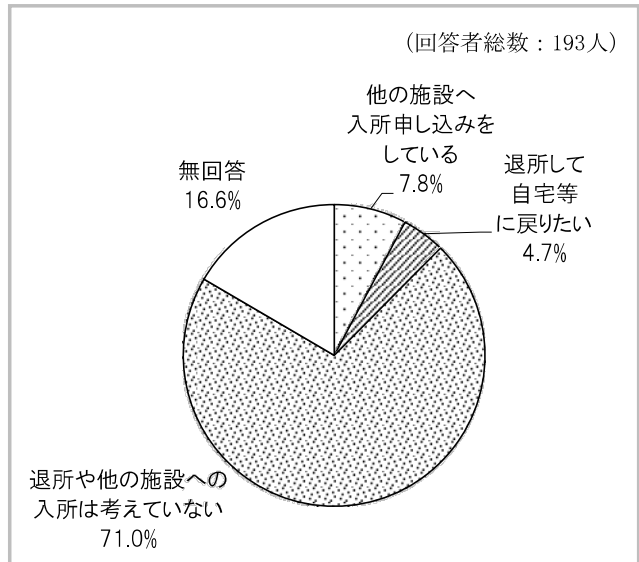


表 退所や他の施設への入所希望 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	193
他の施設へ入所申し込みをしている	15 (7.8)
退所して自宅等に戻りたい	9 (4.7)
退所や他の施設への入所は考えていない	137 (71.0)
無回答	32 (16.6)

問17 [問16で「他の施設へ入所申し込みをしている」と回答した方] どの施設に申し込んでいますか。[あてはまるものすべてに○]

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）が7人

他の施設へ入所申し込みをしている人に、どの施設に申し込んでいるのかをたずねたところ、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が7人、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が2人などとなっています。

(2) 行政に期待すること

問18 高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待しますか。
 [主なものを3つ以内で〇]

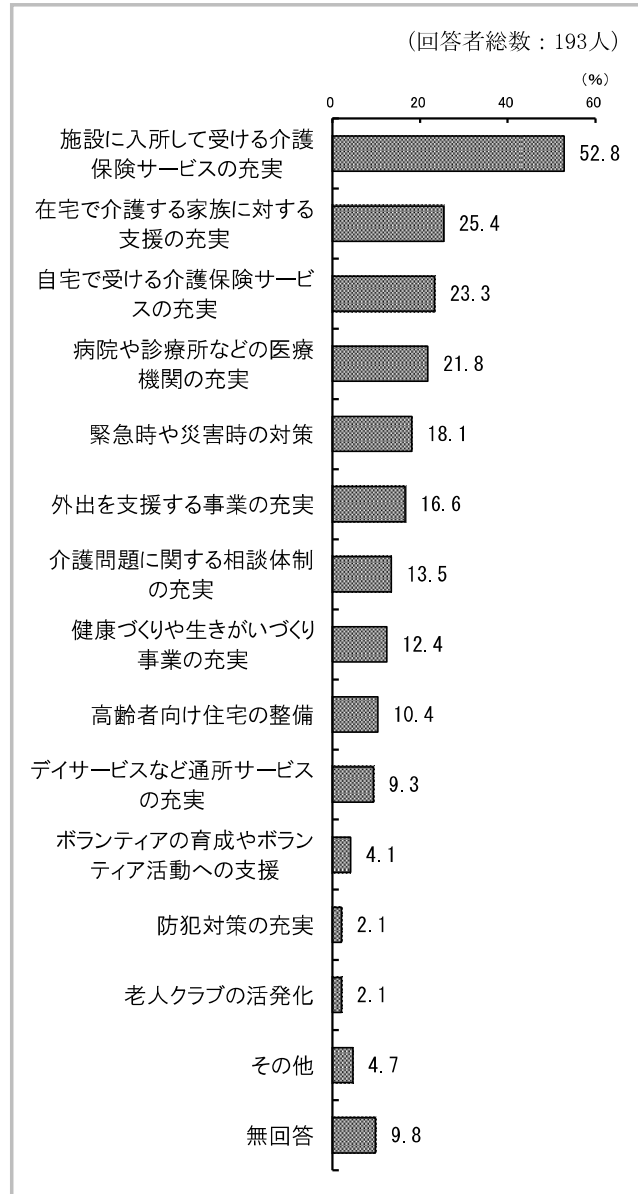
「施設に入所して受ける介護保険サービスの充実」が52.8%

高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待するかについては、「施設に入所して受ける介護保険サービスの充実」が52.8%で、次いで「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が25.4%、「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が23.3%となっています。

表 行政に期待すること 単位：人（%）

回答者総数（人）	193
項目	回答数（構成比）
施設に入所して受ける介護保険サービスの充実	102 (52.8)
在宅で介護する家族に対する支援の充実	49 (25.4)
自宅で受ける介護保険サービスの充実	45 (23.3)
病院や診療所などの医療機関の充実	42 (21.8)
緊急時や災害時の対策	35 (18.1)
外出を支援する事業の充実	32 (16.6)
介護問題に関する相談体制の充実	26 (13.5)
健康づくりや生きがいがづくり事業の充実	24 (12.4)
高齢者向け住宅の整備	20 (10.4)
デイサービスなど通所サービスの充実	18 (9.3)
ボランティアの育成やボランティア活動への支援	8 (4.1)
防犯対策の充実	4 (2.1)
老人クラブの活発化	4 (2.1)
その他	9 (4.7)
無回答	19 (9.8)

図 行政に期待すること



5 施設サービス利用者調査のまとめ

①回答者の属性

性別については、「男性」が21.8%、「女性」が77.2%で、女性が男性の3倍以上となっています。

年齢構成をみると、「65～69歳」が1.0%、「70～74歳」が6.2%で、前期高齢者の割合は7.3%となっています。また、「75～79歳」は9.3%、「80～84歳」は18.7%、「85～89歳」は25.9%、「90歳以上」は35.8%で、後期高齢者の割合は89.6%と多くなっています。

介護度については、「要介護3」が28.0%、「要介護4」が31.6%、「要介護5」が28.5%で、これらを合わせると要介護3～5が88.1%となっています。

医師に「認知症」と診断されているかについては、「診断されている」が57.5%で、施設入所者の約6割を占めています。在宅介護実態調査と比較すると、認知症と診断されている人の割合は34ポイント高くなっており、施設入所の要因の一つとなっていることがうかがえます。

入所する以前の居住地区については、「小久喜」が16.6%、「篠津」が11.9%となっています。日常生活圏域でみると、「日勝圏域」と「篠津・大山圏域」がそれぞれ47.7%となっています。

②入所施設について

入所している施設の種類については、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が75.1%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が22.3%となっています。

現在の施設に入所してからの期間については、「1年～3年未満」が35.2%、「5年～10年未満」が17.1%、「6か月～1年未満」が16.6%となっています。

入所した理由については、「身体面で在宅生活ができなくなった」が53.9%で、次いで「家族による介護ができなくなった」が39.4%、「自宅での居住では介護を続けていくことが難しくなった」が35.2%となっています。これを認知症の診断別にみると、認知症の診断にかかわらず「身体面で在宅生活ができなくなった」が最も多くなっていますが、認知症と診断されていない場合では割合が60.0%と多くなっています。また、認知症と診断されている場合は、「家族による介護ができなくなった」と「精神面（認知症など）で在宅生活ができなくなった」がそれぞれ45.0%と多くなっています。認知症の状況によって入所の理由が異なる傾向があるとみられます。

③施設のサービスについて

施設に入所してからの日常生活の変化について、項目ごとにたずねました。その結果、『生活習慣』では、「規則正しくなった」という割合は67.4%となっています。また、『生活の張り』では「張りが出た」が24.4%、『気持ち』では「前向きになった」が26.9%、『服装・身だしなみ』では「気にするようになった」が15.0%となっています。

施設サービスの満足度について、項目ごとにたずねました。その結果、「満足である」という割合は、『健康面への配慮について』と『職員の対応について』でそれぞれ72.0%となっていますが、『レクリエーションやクラブ活動について』では「満足である」が46.6%となっています。

現在、入所している施設のサービス全般の満足度については、「満足である」が68.4%となっており、高い評価となっています。

現在の利用料については、「適当だと思う」が46.6%となっていますが、「高いと思う」が13.5%、「やや高いと思う」が33.7%で、これらを合わせると利用料が高いと感じている人は47.2%となっています。

施設が要望を聞いてくれるかについては、「よく要望を聞いてくれる」が35.2%、「どちらかといえば聞いてくれる」が52.8%で、これらを合わせると要望を聞いてくれると評価している人が88.0%となっています。

施設に不満があるときに誰に相談するかについては、「施設の職員」が36.3%で、次いで「家族」が35.8%、「ケアマネジャー」が16.6%となっています。

施設でのサービスについて改善してほしいことがあるかについては、「ある」が25.4%となっており、前回の調査結果より14.7ポイント増加しました。改善してほしいことの具体的な内容としては、面会に関すること、施設と家族のきめ細かいやりとり、食事の内容、声かけ、レクリエーション、職員体制の充実などの記載がありました。感染症対策の影響がうかがえる内容もみられることから、利用者と家族、または、施設と利用者家族とのコミュニケーションが円滑になるよう、様々な取り組みが重要となっています。

④今後の意向や要望について

施設からの退所や他の施設への入所を希望しているかについては、「退所や他の施設への入所は考えていない」が71.0%となっています。また、「他の施設へ入所申し込みをしている」は7.8%、「退所して自宅等に戻りたい」は4.7%となっています。

他の施設へ入所申し込みをしている人に、どの施設に申し込んでいるのかをたずねたところ、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が7人、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が2人などとなっています。

高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待するかについては、「施設に入所して受ける介護保険サービスの充実」が52.8%で、次いで「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が25.4%、「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が23.3%となっています。

第4章 サービス提供事業者調査

第4章 サービス提供事業者調査

1 回答事業者の属性

(1) 事業所概要

問1 事業所の法人格 [1つに〇]

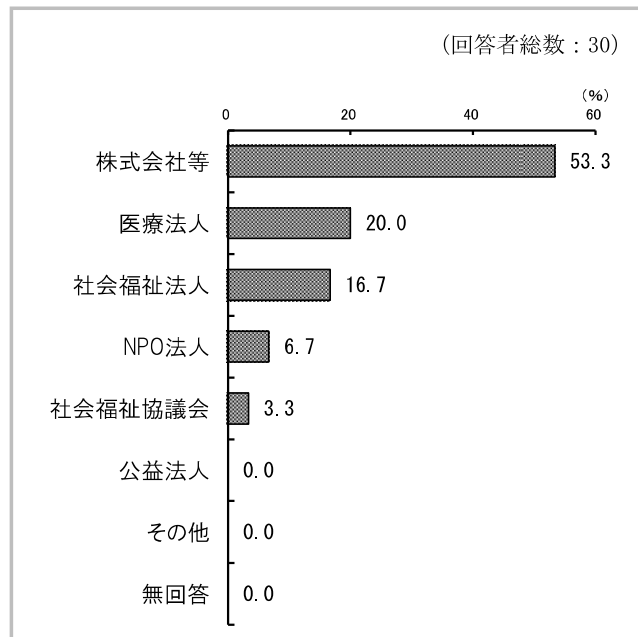
「株式会社等」が53.3%

回答のあった事業所の法人格については、「株式会社等」が53.3%、「医療法人」が20.0%、「社会福祉法人」が16.7%となっています。

表 事業所の法人格 単位：人（%）

回答者総数（人）	30
項目	回答数（構成比）
株式会社等	16 (53.3)
医療法人	6 (20.0)
社会福祉法人	5 (16.7)
NPO法人	2 (6.7)
社会福祉協議会	1 (3.3)
公益法人	0 (0.0)
その他	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

図 事業所の法人格



2 サービスの提供状況について

(1) サービスの実施状況とニーズへの対応状況

問2 貴事業所で実施しているサービスの種類は何ですか。[あてはまるものすべてに○]
また、そのサービスは、ニーズに対応できていますか。[各項目につき1つずつ○]

「訪問介護」が9件、「居宅介護支援」が5件、「通所介護」と「介護予防支援」等が4件
ニーズに対して「断ることがある」は、「居宅介護支援」で3件

調査に回答した事業所の提供サービスについては、「訪問介護」が9件、「居宅介護支援」が5件、「通所介護」、「介護予防支援」、「訪問介護（総合事業）」、「サービス付き高齢者向け住宅」でそれぞれ4件となっています。

また、ニーズへの対応については、「断ることがある」という件数をみると、「居宅介護支援」が3件、「訪問介護」、「訪問看護」、「介護予防訪問看護」、「介護予防支援」でそれぞれ2件となっています。

表 サービスの実施状況とニーズへの対応状況

単位：件

項目	実施している事業所数		ニーズへの対応状況	
			対応できている	断ることがある
1 訪問介護	9	⇒	7	2
2 訪問入浴介護	0	⇒	-	-
3 訪問看護	3	⇒	1	2
4 訪問リハビリテーション	1	⇒	1	0
5 居宅療養管理指導	1	⇒	0	0
6 通所介護	4	⇒	4	0
7 通所リハビリテーション	1	⇒	1	0
8 短期入所生活介護	3	⇒	2	1
9 短期入所療養介護	0	⇒	-	-
10 特定施設入居者生活介護	3	⇒	3	0
11 福祉用具貸与	1	⇒	1	0
12 特定福祉用具販売	1	⇒	1	0
13 居宅介護住宅改修	1	⇒	1	0
14 介護予防訪問入浴介護	0	⇒	-	-
15 介護予防訪問看護	2	⇒	0	2
16 介護予防訪問リハビリテーション	1	⇒	1	0
17 介護予防居宅療養管理指導	0	⇒	-	-
18 介護予防通所リハビリテーション	1	⇒	1	0
19 介護予防短期入所生活介護	2	⇒	2	0
20 介護予防短期入所療養介護	0	⇒	-	-

項目	実施している事業所数		ニーズへの対応状況	
			対応できている	断ることがある
21 介護予防特定施設入居者生活介護	1	⇒	1	0
22 介護予防福祉用具貸与	1	⇒	1	0
23 特定介護予防福祉用具販売	1	⇒	1	0
24 介護予防住宅改修	1	⇒	1	0
25 基準該当短期入所生活介護	0	⇒	-	-
26 基準該当介護予防短期入所生活介護	0	⇒	-	-
27 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	⇒	-	-
28 夜間対応型訪問介護	0	⇒	-	-
29 地域密着型通所介護	1	⇒	1	0
30 認知症対応型通所介護	1	⇒	1	0
31 小規模多機能型居宅介護	0	⇒	-	-
32 認知症対応型共同生活介護	1	⇒	0	0
33 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	⇒	-	-
34 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	⇒	1	0
35 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	1	⇒	1	0
36 介護予防認知症対応型通所介護	1	⇒	1	0
37 介護予防小規模多機能型居宅介護	0	⇒	-	-
38 介護予防認知症対応型共同生活介護	1	⇒	0	0
39 居宅介護支援	5	⇒	2	3
40 介護予防支援	4	⇒	2	2
41 介護老人福祉施設	3	⇒	2	1
42 介護老人保健施設	0	⇒	-	-
43 介護医療院	0	⇒	-	-
44 訪問介護（総合事業）	4	⇒	3	1
45 訪問型サービスA	1	⇒	1	0
46 通所介護（総合事業）	2	⇒	2	0
47 通所型サービスA	1	⇒	0	1
48 通所型サービスC	1	⇒	1	0
49 ケアマネジメントA	0	⇒	-	-
50 住宅型有料老人ホーム	2	⇒	2	0
51 サービス付き高齢者向け住宅	4	⇒	4	0
52 ケアハウス	0	⇒	-	-

※表中、「ニーズへの対応状況」の無回答数は除いている。

3 今後の事業展開について

(1) 今後の事業展開の予定

問3 貴事業所のサービスについて、利用定員や職員数、サービスの内容の規模等における今後の事業展開の予定、もしくはサービスの廃止や新規実施の有無などをお答えください。
[各項目につき1つずつ〇]

『訪問介護』、『通所介護』、『居宅介護支援』、『介護予防支援』などで「規模拡大」

事業展開について、「規模拡大」と回答した事業者は、『訪問介護』、『通所介護』、『居宅介護支援』、『介護予防支援』でそれぞれ2件、『訪問看護』、『福祉用具貸与』、『特定福祉用具販売』、『居宅介護住宅改修』、『介護予防福祉用具貸与』、『特定介護予防福祉用具販売』、『介護予防住宅改修』、『通所型サービスA』、『サービス付き高齢者向け住宅』でそれぞれ1件となっています。

「規模縮小」は、『居宅介護支援』と『介護予防支援』でそれぞれ1件、「廃止」、「新規」は0件となっています。

表 今後の事業展開の予定

単位：件

項目	現在実施している事業所数	今後の予定				
		規模拡大	現状維持	規模縮小	廃止	新規
1 訪問介護	9	2	7	0	0	0
2 訪問入浴介護	0	0	0	0	0	0
3 訪問看護	3	1	2	0	0	0
4 訪問リハビリテーション	1	0	1	0	0	0
5 居宅療養管理指導	1	0	0	0	0	0
6 通所介護	4	2	2	0	0	0
7 通所リハビリテーション	1	0	1	0	0	0
8 短期入所生活介護	3	0	3	0	0	0
9 短期入所療養介護	0	0	0	0	0	0
10 特定施設入居者生活介護	3	0	3	0	0	0
11 福祉用具貸与	1	1	0	0	0	0
12 特定福祉用具販売	1	1	0	0	0	0
13 居宅介護住宅改修	1	1	0	0	0	0
14 介護予防訪問入浴介護	0	0	0	0	0	0
15 介護予防訪問看護	2	0	2	0	0	0
16 介護予防訪問リハビリテーション	1	0	1	0	0	0
17 介護予防居宅療養管理指導	0	0	0	0	0	0
18 介護予防通所リハビリテーション	1	0	1	0	0	0
19 介護予防短期入所生活介護	2	0	2	0	0	0
20 介護予防短期入所療養介護	0	0	0	0	0	0

項目	現在実施している事業所数	今後の予定				
		規模拡大	現状維持	規模縮小	廃止	新規
21 介護予防特定施設入居者生活介護	1	0	1	0	0	0
22 介護予防福祉用具貸与	1	1	0	0	0	0
23 特定介護予防福祉用具販売	1	1	0	0	0	0
24 介護予防住宅改修	1	1	0	0	0	0
25 基準該当短期入所生活介護	0	0	0	0	0	0
26 基準該当介護予防短期入所生活介護	0	0	0	0	0	0
27 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0	0	0	0	0
28 夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	0
29 地域密着型通所介護	1	0	1	0	0	0
30 認知症対応型通所介護	1	0	1	0	0	0
31 小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0
32 認知症対応型共同生活介護	1	0	1	0	0	0
33 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0
34 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	0	1	0	0	0
35 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	1	0	1	0	0	0
36 介護予防認知症対応型通所介護	1	0	1	0	0	0
37 介護予防小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0
38 介護予防認知症対応型共同生活介護	1	0	1	0	0	0
39 居宅介護支援	5	2	2	1	0	0
40 介護予防支援	4	2	1	1	0	0
41 介護老人福祉施設	3	0	3	0	0	0
42 介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0
43 介護医療院	0	0	0	0	0	0
44 訪問介護（総合事業）	4	0	4	0	0	0
45 訪問型サービスA	1	0	1	0	0	0
46 通所介護（総合事業）	2	0	2	0	0	0
47 通所型サービスA	1	1	0	0	0	0
48 通所型サービスC	1	0	1	0	0	0
49 ケアマネジメントA	0	0	0	0	0	0
50 住宅型有料老人ホーム	2	0	1	0	0	0
51 サービス付き高齢者向け住宅	4	1	2	0	0	0
52 ケアハウス	0	0	0	0	0	0

※ 表中、「今後の予定」の無回答数は除いている。

(2) 今後の事業展開の具体的内容

問4 問3で規模拡大や規模縮小、新規に○がある場合、予定されている具体的な内容をわかる範囲でけっこうですので、記入してください。

7事業所から、今後の事業展開の具体的な内容について記述がありました。人員の増加やサービス提供体制強化への対応などの内容となっています。

表 具体的内容

サービス名等	内 容
訪問介護	ヘルパー増員 ヘルパー人員数を増やし、利用者ニーズにできるだけ対応していきたい。
訪問看護	現在、常勤看護師が6名で機能強化型Ⅱ（医療保険）を算定しているが、令和5年度中に常勤7名以上に増やし、機能強化型Ⅰに拡大したい。
通所介護	利用定員の増加
福祉用具貸与、特定福祉用具販売、居宅介護住宅改修	雇用の拡大
介護予防福祉用具貸与、特定介護予防福祉用具販売、介護予防住宅改修	雇用の拡大
居宅介護支援	従業員削減
通所型サービスA	事業所を移転させ、充実したりハビリ設備の中で新たなサービス提供を準備中。

4 運営上の問題点について

(1) 運営上の問題点や課題

問5 利用者の要望は多種多様であり、現在の制度の枠内では十分に対応できない状況もあるかと思ひます。そのような点も含め、利用者の要望に応えられずご苦勞なさいている点や、運営上の問題（需要が少ない、経費がかかる等）など、貴事業所が現在抱えている問題点や課題がありましたら、サービスごとにその内容を記入してください。また、運営全般にかかわる問題は、サービス名のところに「運営全般」と記入してください。

運営上の問題点や課題について、17事業所から記述がありました。

個別のサービスや運営全般などで、人材確保の難しさや人員不足を挙げる内容がみられるほか、新型コロナウイルス感染症対策や経費の上昇に関する内容も挙げられています。

表 運営上の問題点や課題

サービス名等	内容
運営全般	多忙にかかわらず、収益があがらず、運営自体が難しくなっている。
	公共料金の値上げ、電気代。
	外出、外泊。
	登録ヘルパーの高齢化により、身体介護を担えるヘルパーが少ない。 人件費等も含めた経費がかかる。
	経費がかかる。 ヘルパーの確保。 ヘルパーの質の維持。
	他市区町村と同様に、受領委任払いにしてもらえると助かります。
	直接雇用の職員の採用が進まず、派遣職員の比率が高く、人員が定着しない。
訪問介護	人員不足、コロナ対策での経費増、コロナ陽性者への接触の恐怖、関係機関などへの書類の多さ。
	職員不足により新規受け付けすべて断っている状態。利用者数減少により廃止検討中。大幅赤字が現状です。
訪問看護	（介）訪問看護体制強化加算Ⅰの算定要件に、算定前12か月間に介護保険での看取り（ターミナル加算）を5件以上とあるが、終末期には他サービスで単位数が不足し、訪問看護を特別訪問看護指示書で医療保険にしなければならないこともある。（制度上のことですが、困っています。）
通所介護	職員配置基準に沿ってのサービス提供が困難。
通所介護、運営全般	経費（送迎によるガソリン代、トイレトーパー、ティッシュ、光熱費、マスク、グローブ）。 職員不足。職員補充に高額な費用が必要。
認知症対応型通所介護	地域密着の認知デイのため、対象者が限られてくる。エリア的にも久喜が近いのと、認知症の診断がないと利用できないので利用者が少ない。
認知症対応型共同生活介護	人員不足、早期離職。

第4章 サービス提供事業者調査

サービス名等	内 容
地域密着型通所介護（半日型）	ニーズは非常に多いが、単価設定が低く、90%以上の稼働でも安定した運営が難しい。
居宅介護支援	現在2名体制で運営しているが、フル稼働しても黒字化が難しい単価設定。また、全国的な成り手不足で人員補充困難。
介護老人福祉施設	負担限度額の段階変更により、ユニット施設の入所は続けられない、入所してしまうと自分の生活が出来なくなる等の相談あり。収入と生活を考えて入所まで進めない利用者が増加。
介護老人福祉施設	医療の希望がある方の申し込みへの対応に苦慮している。
サービス付き高齢者向け住宅	経費がかかる。 デイサービス通所者等他利用施設でコロナ発生時、対象入居者に防護服を使用するため、感染対策用品に経費がかかる。
訪問介護、サービス付き高齢者向け住宅	コロナ禍が続いており、御入居者様には、面会制限、外出制限など、色々と我慢をしていただく状態が続き、精神的にも不自由をおかけしており申し訳なく思っております。

5 利用者数の動向について

(1) 施設入所者及び入所希望者数の動向

問6 貴事業所の施設入所者及び入所希望者数はどのような状況ですか。[1つに○]

「増えている」が26.7%

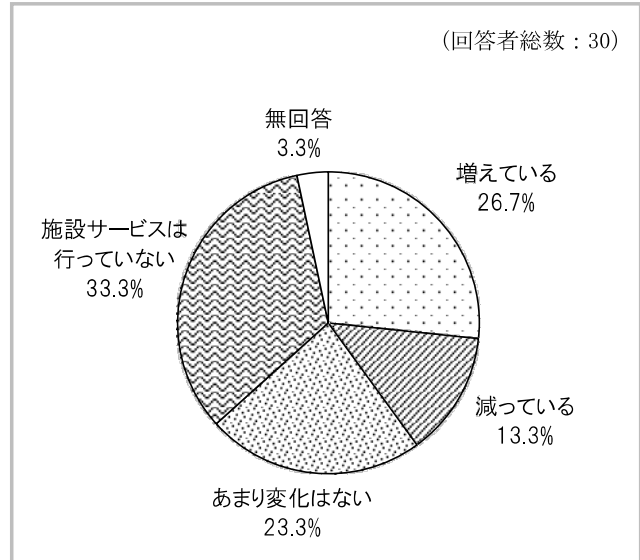
施設入所者及び入所希望者数の状況については、「増えている」が26.7%、「減っている」が13.3%となっています。

また、「あまり変化はない」は23.3%となっています。

表 施設入所者数・希望者数の状況

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	30
項目	回答数 (構成比)
増えている	8 (26.7)
減っている	4 (13.3)
あまり変化はない	7 (23.3)
施設サービスは行っていない	10 (33.3)
無回答	1 (3.3)

図 施設入所者数・希望者数の状況



(2) 居宅サービス利用者数の動向

問7 貴事業所の居宅サービス利用者数はどのような状況ですか。[1つに○]

「増えている」が46.7%

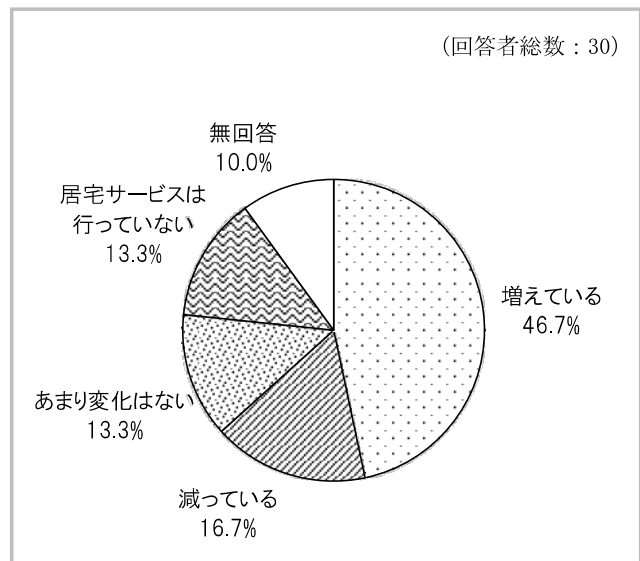
居宅サービスの利用者数については、「増えている」が46.7%、「減っている」が16.7%となっています。

また、「あまり変化はない」は13.3%となっています。

表 居宅サービス利用者数の状況

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	30
項目	回答数 (構成比)
増えている	14 (46.7)
減っている	5 (16.7)
あまり変化はない	4 (13.3)
居宅サービスは行っていない	4 (13.3)
無回答	3 (10.0)

図 居宅サービス利用者数の状況



6 サービス提供事業者調査のまとめ

① 回答事業者の属性とサービスの提供状況について

回答のあった事業所の法人格については、「株式会社等」が53.3%、「医療法人」が20.0%、「社会福祉法人」が16.7%となっています。提供しているサービスについては、「訪問介護」が9件、「居宅介護支援」が5件、「通所介護」、「介護予防支援」、「訪問介護（総合事業）」、「サービス付き高齢者向け住宅」でそれぞれ4件となっています。

また、ニーズへの対応については、「断ることがある」という件数をみると、「居宅介護支援」が3件、「訪問介護」、「訪問看護」、「介護予防訪問看護」、「介護予防支援」でそれぞれ2件となっています。

② 今後の事業展開について

今後の事業展開について、「規模拡大」と回答した事業者は、『訪問介護』、『通所介護』、『居宅介護支援』、『介護予防支援』でそれぞれ2件、『訪問看護』、『福祉用具貸与』、『特定福祉用具販売』、『居宅介護住宅改修』、『介護予防福祉用具貸与』、『特定介護予防福祉用具販売』、『介護予防住宅改修』、『通所型サービスA』、『サービス付き高齢者向け住宅』でそれぞれ1件となっています。

「規模縮小」は、『居宅介護支援』と『介護予防支援』でそれぞれ1件、「廃止」、「新規」は0件となっています。

今後の事業展開の具体的な内容については、7事業所から記述がありました。人員の増加やサービス提供体制強化への対応などの内容が挙げられています。

③ 運営上の問題点について

運営上の問題点や課題については、17事業所から記述がありました。個別のサービスや運営全般などで、人材確保の難しさや人員不足を挙げる内容がみられるほか、新型コロナウイルス感染症対策や経費の上昇に関する内容も挙げられています。

安定的に事業所が運営され、サービス提供が行えるよう、情報の共有や必要に応じた支援策について検討する必要があります。

④ 利用者数の動向について

施設入所者及び入所希望者数の状況については、「増えている」が26.7%、「減っている」が13.3%となっています。また、「あまり変化はない」は23.3%となっています。

居宅サービスの利用者数については、「増えている」が46.7%、「減っている」が16.7%となっています。また、「あまり変化はない」は13.3%となっています。

サービス利用者全体は増加傾向にあることから、利用したいサービスが利用できるよう、十分なサービス提供体制を整えていくことが必要です。

第5章 ケアマネジャー調査

第5章 ケアマネジャー調査

1 回答者の属性

(1) ケアマネジャー経験年数

問1 あなたはケアマネジャーの仕事をしてどのくらいになりますか。[1つに○]

「10年以上」が61.5%

ケアマネジャーの仕事をしてどのくらいになるかについては、「10年以上」が61.5%で、次いで「5年以上10年未満」が19.2%となっています。

図 ケアマネジャー経験年数

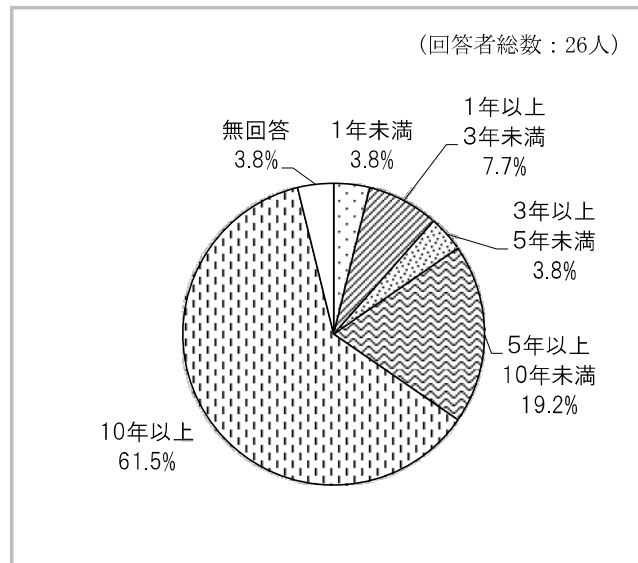


表 ケアマネジャー経験年数 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	26
1年未満	1 (3.8)
1年以上3年未満	2 (7.7)
3年以上5年未満	1 (3.8)
5年以上10年未満	5 (19.2)
10年以上	16 (61.5)
無回答	1 (3.8)

2 ケアプランについて

(1) 受け持ち人数

問2 あなたが、ケアプランを作成している方は何人ですか。また、そのうち、白岡市の方について要介護度別に人数をご記入ください。

「30～39人」が34.6%

ケアプランを作成している受け持ち人数については、平均で34.2人となっています。内訳としては、「30～39人」が34.6%、「40人以上」が23.1%となっています。

また、白岡市分については、平均23.3人となっています。

表 受け持ち人数

ケアプラン作成人数（受け持ちの合計）
回答者総数 26人
平均 34.2人

表 受け持ち人数のうち白岡市分

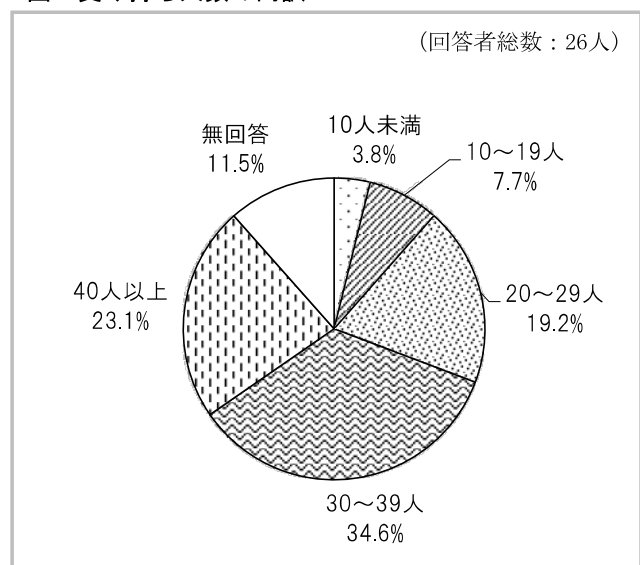
項目	白岡市内分のケアプラン作成人数 回答者総数 26人
要支援1	平均 1.7人
要支援2	平均 2.8人
要介護1	平均 8.5人
要介護2	平均 7.0人
要介護3	平均 4.2人
要介護4	平均 3.2人
要介護5	平均 1.6人
合計	平均 23.3人

表 受け持ち人数の内訳

単位：人（%）

項目	回答数（構成比）
回答者総数（人）	26
10人未満	1（3.8）
10～19人	2（7.7）
20～29人	5（19.2）
30～39人	9（34.6）
40人以上	6（23.1）
無回答	3（11.5）

図 受け持ち人数の内訳



(2) ケアプラン作成で重視すること

問3 ケアプランを作成する際、あなたは何を重視しますか。[重視するもの上位3つに○]

「生活状況の改善」が65.4%

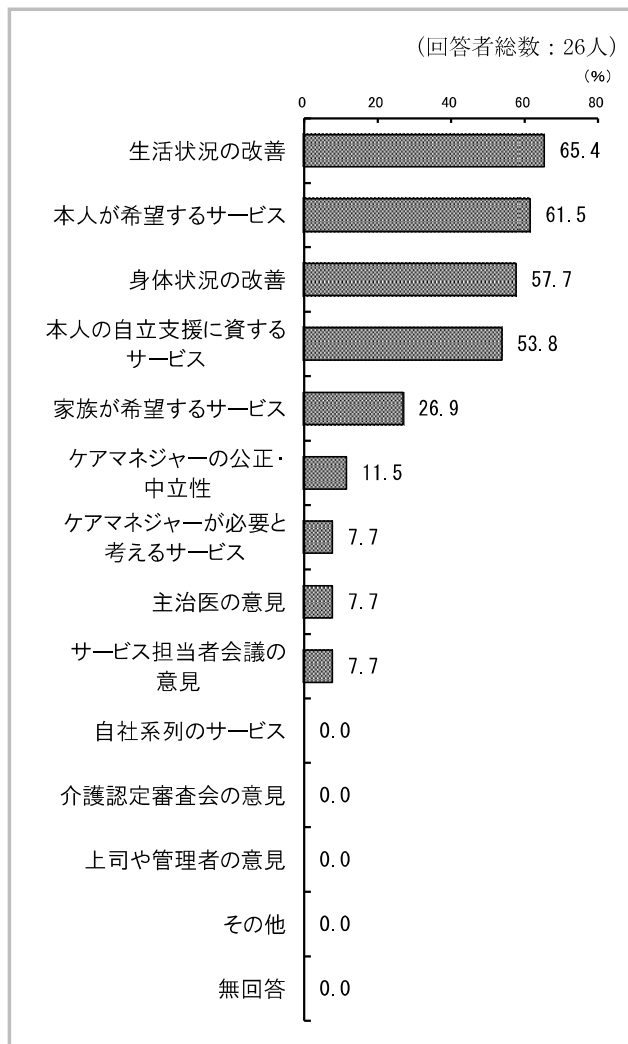
ケアプランを作成する際に何を重視するかについては、「生活状況の改善」が65.4%で、次いで「本人が希望するサービス」が61.5%、「身体状況の改善」が57.7%となっています。

また、「本人の自立支援に資するサービス」は53.8%、「家族が希望するサービス」は26.9%となっています。

表 ケアプラン作成で重視すること

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	26
項目	回答数 (構成比)
生活状況の改善	17 (65.4)
本人が希望するサービス	16 (61.5)
身体状況の改善	15 (57.7)
本人の自立支援に資するサービス	14 (53.8)
家族が希望するサービス	7 (26.9)
ケアマネジャーの公正・中立性	3 (11.5)
ケアマネジャーが必要と考えるサービス	2 (7.7)
主治医の意見	2 (7.7)
サービス担当者会議の意見	2 (7.7)
自社系列のサービス	0 (0.0)
介護認定審査会の意見	0 (0.0)
上司や管理者の意見	0 (0.0)
その他	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

図 ケアプラン作成で重視すること



3 サービスに対する評価等について

(1) 各サービスの供給バランスに対する評価

問4 白岡市における介護保険サービス事業は、利用者の需要（希望）に対して足りていると思いますか。[各項目ごとに1つずつ〇]

居宅療養管理指導、福祉用具の貸与や販売、居宅介護住宅改修については「十分足りている」

白岡市における介護保険サービス事業は、利用者の需要（希望）に対して足りていると思うかについて、サービスごとにたずねました。

「十分足りている」という割合が50%を超えて多かったのは、『居宅療養管理指導』、『福祉用具貸与』、『特定福祉用具販売』、『居宅介護住宅改修』です。

一方、「やや不足している」という割合が多かったのは『通所リハビリテーション』で80.8%、「かなり不足している」という割合が多かったのは『訪問介護』で73.1%となっています。

表 各サービスの供給バランスに対する評価

回答者総数：26人 単位：人（%）

項目	十分足りている	やや不足している	かなり不足している	無回答
1 訪問介護	0 (0.0)	7 (26.9)	19 (73.1)	0 (0.0)
2 訪問入浴介護	6 (23.1)	9 (34.6)	11 (42.3)	0 (0.0)
3 訪問看護	6 (23.1)	15 (57.7)	5 (19.2)	0 (0.0)
4 訪問リハビリテーション	3 (11.5)	16 (61.5)	7 (26.9)	0 (0.0)
5 居宅療養管理指導	14 (53.8)	12 (46.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
6 通所介護	8 (30.8)	16 (61.5)	1 (3.8)	1 (3.8)
7 通所リハビリテーション	2 (7.7)	21 (80.8)	3 (11.5)	0 (0.0)
8 短期入所生活介護	1 (3.8)	17 (65.4)	8 (30.8)	0 (0.0)
9 短期入所療養介護	3 (11.5)	16 (61.5)	6 (23.1)	1 (3.8)
10 特定施設入居者生活介護	10 (38.5)	14 (53.8)	2 (7.7)	0 (0.0)
11 福祉用具貸与	15 (57.7)	6 (23.1)	5 (19.2)	0 (0.0)
12 特定福祉用具販売	14 (53.8)	8 (30.8)	4 (15.4)	0 (0.0)
13 居宅介護住宅改修	14 (53.8)	9 (34.6)	3 (11.5)	0 (0.0)
14 介護予防訪問入浴介護	7 (26.9)	4 (15.4)	9 (34.6)	6 (23.1)
15 介護予防訪問看護	3 (11.5)	14 (53.8)	4 (15.4)	5 (19.2)
16 介護予防訪問リハビリテーション	3 (11.5)	13 (50.0)	5 (19.2)	5 (19.2)
17 介護予防居宅療養管理指導	9 (34.6)	10 (38.5)	2 (7.7)	5 (19.2)
18 介護予防通所リハビリテーション	2 (7.7)	13 (50.0)	5 (19.2)	6 (23.1)
19 介護予防短期入所生活介護	2 (7.7)	12 (46.2)	7 (26.9)	5 (19.2)
20 介護予防短期入所療養介護	3 (11.5)	13 (50.0)	5 (19.2)	5 (19.2)

	項 目	十分 足りている	やや不足 している	かなり不足 している	無回答
21	介護予防特定施設入居者生活介護	7 (26.9)	7 (26.9)	6 (23.1)	6 (23.1)
22	介護予防福祉用具貸与	12 (46.2)	7 (26.9)	3 (11.5)	4 (15.4)
23	特定介護予防福祉用具販売	10 (38.5)	9 (34.6)	3 (11.5)	4 (15.4)
24	介護予防住宅改修	10 (38.5)	10 (38.5)	2 (7.7)	4 (15.4)
25	基準該当短期入所生活介護	6 (23.1)	8 (30.8)	4 (15.4)	8 (30.8)
26	基準該当介護予防短期入所生活介護	6 (23.1)	8 (30.8)	4 (15.4)	8 (30.8)
27	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2 (7.7)	9 (34.6)	13 (50.0)	2 (7.7)
28	夜間対応型訪問介護	2 (7.7)	8 (30.8)	14 (53.8)	2 (7.7)
29	地域密着型通所介護	7 (26.9)	15 (57.7)	2 (7.7)	2 (7.7)
30	認知症対応型通所介護	6 (23.1)	13 (50.0)	5 (19.2)	2 (7.7)
31	小規模多機能型居宅介護	7 (26.9)	14 (53.8)	1 (3.8)	4 (15.4)
32	認知症対応型共同生活介護	9 (34.6)	10 (38.5)	5 (19.2)	2 (7.7)
33	地域密着型特定施設入居者生活介護	5 (19.2)	15 (57.7)	4 (15.4)	2 (7.7)
34	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	5 (19.2)	15 (57.7)	4 (15.4)	2 (7.7)
35	看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	8 (30.8)	12 (46.2)	4 (15.4)	2 (7.7)
36	介護予防認知症対応型通所介護	5 (19.2)	10 (38.5)	6 (23.1)	5 (19.2)
37	介護予防小規模多機能型居宅介護	4 (15.4)	12 (46.2)	5 (19.2)	5 (19.2)
38	介護予防認知症対応型共同生活介護	5 (19.2)	10 (38.5)	6 (23.1)	5 (19.2)
39	居宅介護支援	4 (15.4)	11 (42.3)	8 (30.8)	3 (11.5)
40	介護予防支援	3 (11.5)	12 (46.2)	6 (23.1)	5 (19.2)
41	介護老人福祉施設	5 (19.2)	14 (53.8)	6 (23.1)	1 (3.8)
42	介護老人保健施設	2 (7.7)	16 (61.5)	7 (26.9)	1 (3.8)
43	介護医療院	1 (3.8)	11 (42.3)	13 (50.0)	1 (3.8)
44	訪問介護（総合事業）	4 (15.4)	9 (34.6)	9 (34.6)	4 (15.4)
45	訪問型サービスA	6 (23.1)	11 (42.3)	4 (15.4)	5 (19.2)
46	通所介護（総合事業）	5 (19.2)	15 (57.7)	1 (3.8)	5 (19.2)
47	通所型サービスA	6 (23.1)	11 (42.3)	2 (7.7)	7 (26.9)
48	通所型サービスC	8 (30.8)	9 (34.6)	2 (7.7)	7 (26.9)
49	ケアマネジメントA	7 (26.9)	10 (38.5)	2 (7.7)	7 (26.9)
50	住宅型有料老人ホーム	10 (38.5)	11 (42.3)	2 (7.7)	3 (11.5)
51	サービス付き高齢者向け住宅	9 (34.6)	13 (50.0)	2 (7.7)	2 (7.7)
52	ケアハウス	3 (11.5)	14 (53.8)	7 (26.9)	2 (7.7)

4 地域のきめ細かい支援について

(1) 介護保険・福祉サービス以外で必要な手助け

問5 介護保険サービスや福祉サービス以外で、要介護者及び介護者の生活を支えるために手助けがあるといいと感じるものは何ですか。[主なものを3つ以内で]

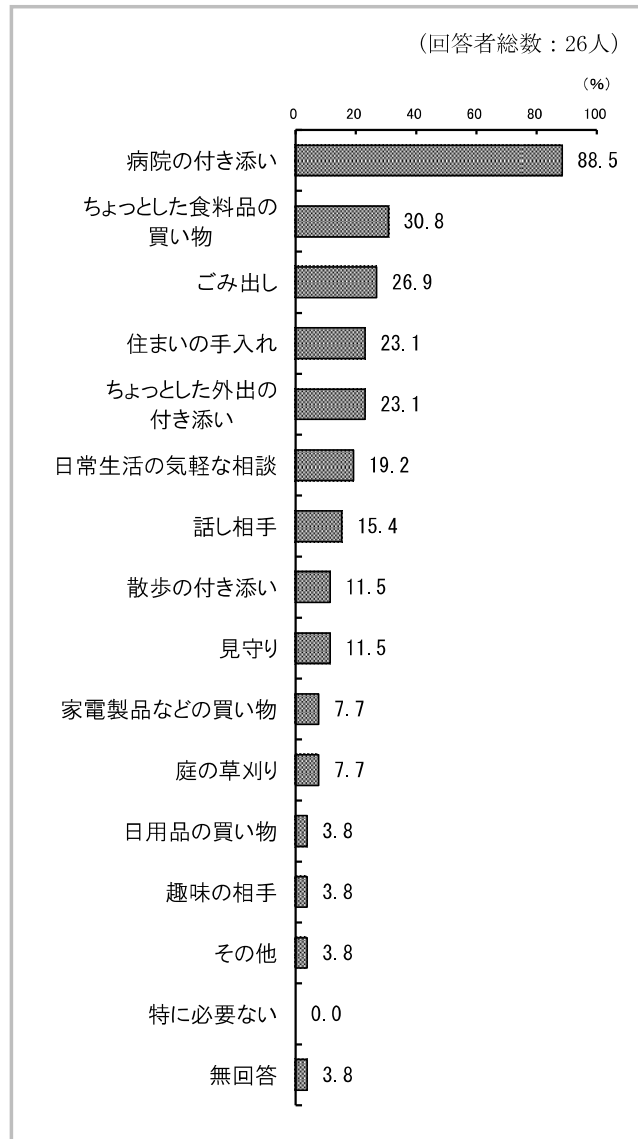
「病院の付き添い」が88.5%

介護保険サービスや福祉サービス以外で、要介護者及び介護者の生活を支えるために手助けがあるといいと感じるものについては、「病院の付き添い」が88.5%で、次いで「ちょっとした食料品の買い物」が30.8%、「ごみ出し」が26.9%となっています。

表 介護保険・福祉サービス以外で必要な手助け
単位：人（%）

回答者総数（人）	26
項目	回答数（構成比）
病院の付き添い	23 (88.5)
ちょっとした食料品の買い物	8 (30.8)
ごみ出し	7 (26.9)
住まいの手入れ	6 (23.1)
ちょっとした外出の付き添い	6 (23.1)
日常生活の気軽な相談	5 (19.2)
話し相手	4 (15.4)
散歩の付き添い	3 (11.5)
見守り	3 (11.5)
家電製品などの買い物	2 (7.7)
庭の草刈り	2 (7.7)
日用品の買い物	1 (3.8)
趣味の相手	1 (3.8)
その他	1 (3.8)
特に必要ない	0 (0.0)
無回答	1 (3.8)

図 介護保険・福祉サービス以外で必要な手助け



(2) 地域資源の把握状況

問6 自立支援を目的としたケアマネジメントにおいては、介護保険サービス以外の地域資源の活用も重要となってきますが、あなたは、白岡市の地域資源についてどの程度把握していますか。
[1つに〇]

把握しているという割合は76.9%

白岡市の地域資源についてどの程度把握しているかについては、「十分把握している」が7.7%、「ある程度は把握している」が69.2%で、これらを合わせると把握しているという割合は76.9%となっています。

一方、「あまり把握していない」は19.2%、「ほとんど把握していない」は3.8%となっています。

図 地域資源の把握状況

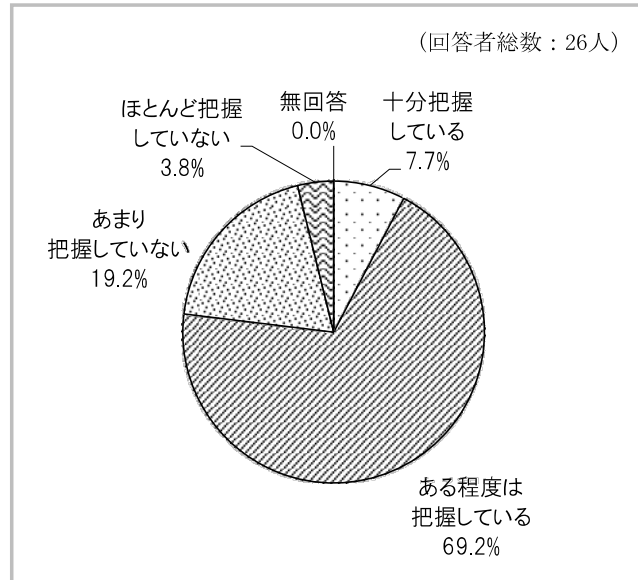


表 地域資源の把握状況 単位：人 (%)

項目	回答数 (構成比)
回答者総数 (人)	26
十分把握している	2 (7.7)
ある程度は把握している	18 (69.2)
あまり把握していない	5 (19.2)
ほとんど把握していない	1 (3.8)
無回答	0 (0.0)

(3) もっと連携を取りたい機関・団体

問7 もっと連携を取りたいと思う機関・団体などがありますか。[主なものを3つ以内で〇]

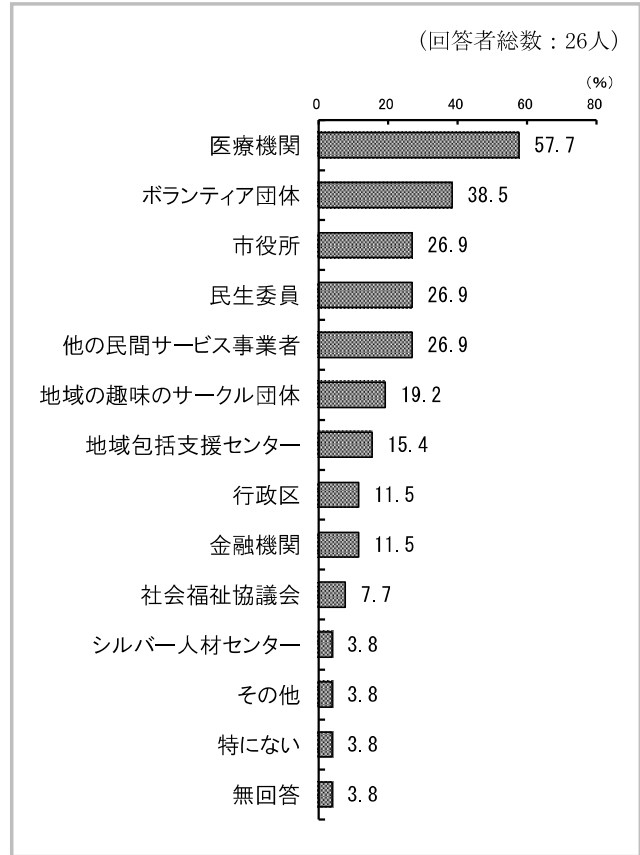
「医療機関」が57.7%

もっと連携を取りたいと思う機関・団体などについては、「医療機関」が57.7%で、次いで「ボランティア団体」が38.5%となっています。また、「市役所」、「民生委員」、「他の民間サービス事業者」がそれぞれ26.9%となっています。

表 もっと連携を取りたい機関・団体

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	26
項目	回答数 (構成比)
医療機関	15 (57.7)
ボランティア団体	10 (38.5)
市役所	7 (26.9)
民生委員	7 (26.9)
他の民間サービス事業者	7 (26.9)
地域の趣味のサークル団体	5 (19.2)
地域包括支援センター	4 (15.4)
行政区	3 (11.5)
金融機関	3 (11.5)
社会福祉協議会	2 (7.7)
シルバー人材センター	1 (3.8)
その他	1 (3.8)
特にない	1 (3.8)
無回答	1 (3.8)

図 もっと連携を取りたい機関・団体



(4) ケアマネ活動で感じる問題点

問8 ケアプラン作成などのケアマネジャーとしての活動の際に、何か問題を感じていることがありますか。率直な感想をお答えください。[主なものを3つ以内で○]

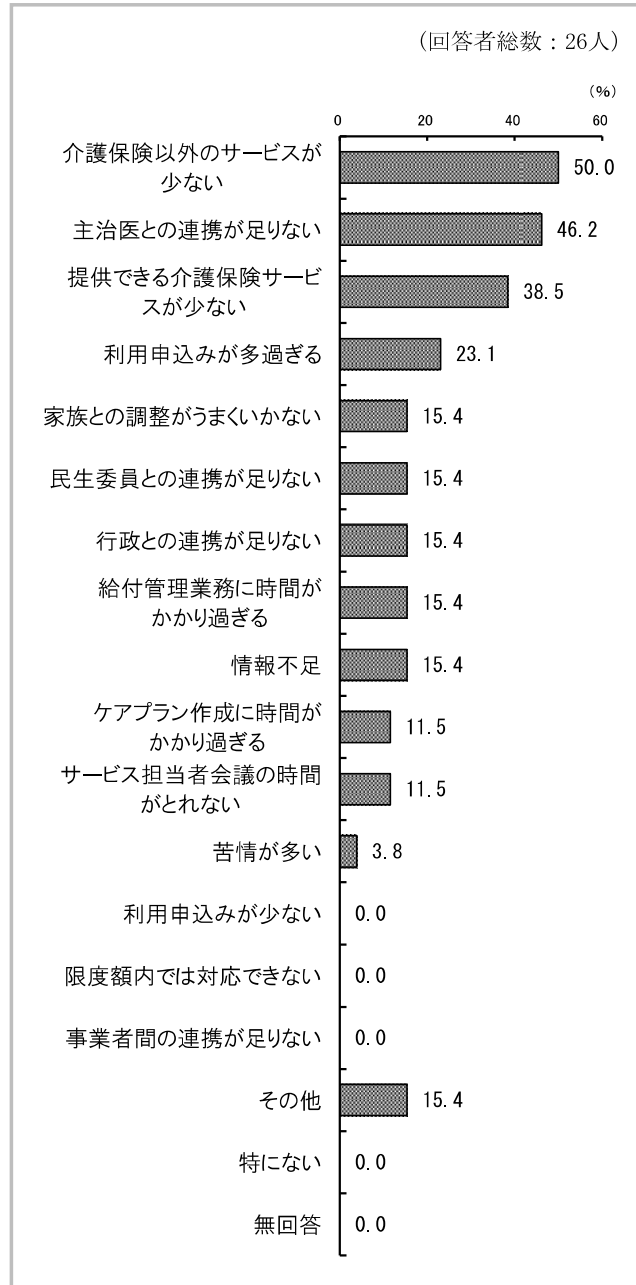
「介護保険以外のサービスが少ない」が50.0%

ケアマネジャーとしての活動の際に感じている問題点については、「介護保険以外のサービスが少ない」が50.0%、次いで「主治医との連携が足りない」が46.2%、「提供できる介護保険サービスが少ない」が38.5%となっています。

表 ケアマネ活動で感じる問題点

単位：人（%）	
回答者総数（人）	26
項目	回答数（構成比）
介護保険以外のサービスが少ない	13 (50.0)
主治医との連携が足りない	12 (46.2)
提供できる介護保険サービスが少ない	10 (38.5)
利用申込みが多過ぎる	6 (23.1)
家族との調整がうまくいかない	4 (15.4)
民生委員との連携が足りない	4 (15.4)
行政との連携が足りない	4 (15.4)
給付管理業務に時間がかかり過ぎる	4 (15.4)
情報不足	4 (15.4)
ケアプラン作成に時間がかかり過ぎる	3 (11.5)
サービス担当者会議の時間がとれない	3 (11.5)
苦情が多い	1 (3.8)
利用申込みが少ない	0 (0.0)
限度額内では対応できない	0 (0.0)
事業者間の連携が足りない	0 (0.0)
その他	4 (15.4)
特になし	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

図 ケアマネ活動で感じる問題点



(5) 医療連携の状況

問9 医療との連携は取れていますか。[1つに○]

「ある程度連携は取れている」が61.5%

医療との連携については、「十分に連携は取れている」が3.8%、「ある程度連携は取れている」が61.5%となっています。

一方、「あまり連携は取れていない」は30.8%となっています。

図 医療連携の状況

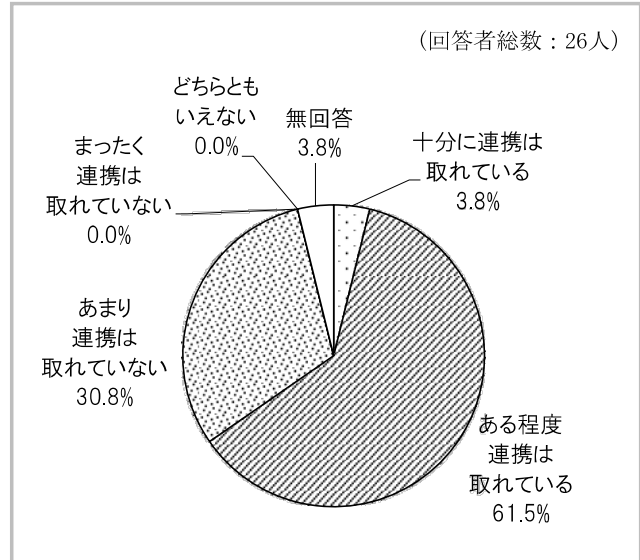


表 医療連携の状況 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	26
項目	回答数 (構成比)
十分に連携は取れている	1 (3.8)
ある程度連携は取れている	16 (61.5)
あまり連携は取れていない	8 (30.8)
まったく連携は取れていない	0 (0.0)
どちらともいえない	0 (0.0)
無回答	1 (3.8)

(6) 医療連携が取れていない理由

問10 [問9「あまり連携は取れていない」または「まったく連携は取れていない」と回答した方] 医療との連携が取れていない理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

「医師の介護保険制度に対する理解が少ない」が75.0%

医療との連携が取れていない理由については、「医師の介護保険制度に対する理解が少ない」が75.0%で、次いで「日程を調整することが難しい」が62.5%、「自分自身の医療的な知識が不足している」が50.0%となっています。

図 医療連携が取れていない理由

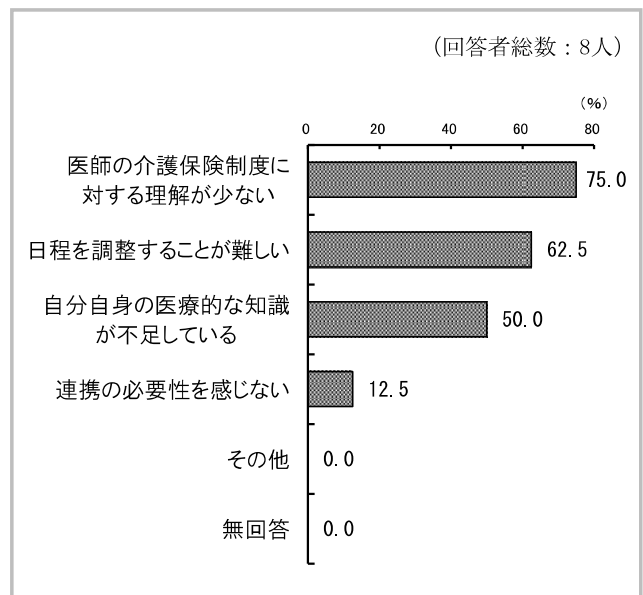


表 医療連携が取れていない理由 単位：人 (%)

回答者総数 (人)	8
項目	回答数 (構成比)
医師の介護保険制度に対する理解が少ない	6 (75.0)
日程を調整することが難しい	5 (62.5)
自分自身の医療的な知識が不足している	4 (50.0)
連携の必要性を感じない	1 (12.5)
その他	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

5 虐待について

(1) 虐待が疑われるケースの有無

問11 あなたが担当している白岡市のケースの中で、これまでに虐待が疑われるケースはありましたか。[1つに〇]

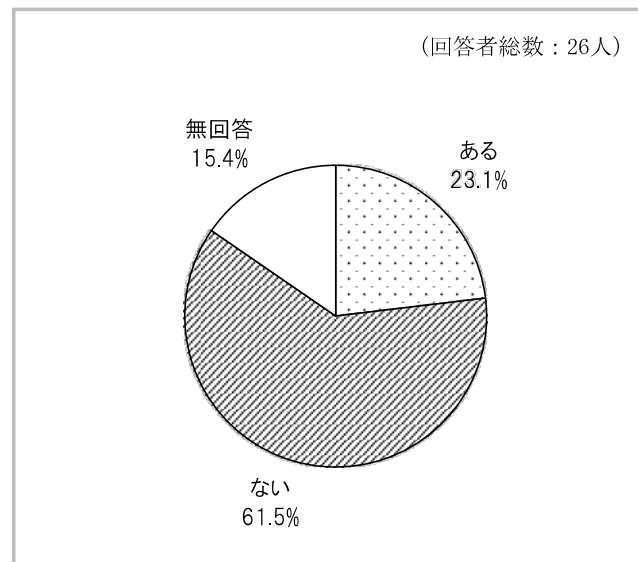
「ある」が23.1%

これまでに虐待が疑われるケースがあったかについては、「ある」が23.1%で、「ない」が61.5%となっています。

表 虐待が疑われるケースの有無

単位：人（%）	
回答者総数（人）	26
項目	回答数（構成比）
ある	6 (23.1)
ない	16 (61.5)
無回答	4 (15.4)

図 虐待が疑われるケースの有無



(2) 虐待防止のために特に必要なこと

問12 虐待防止のために、特に必要だと思うことは何ですか。[主なものを3つ以内で○]

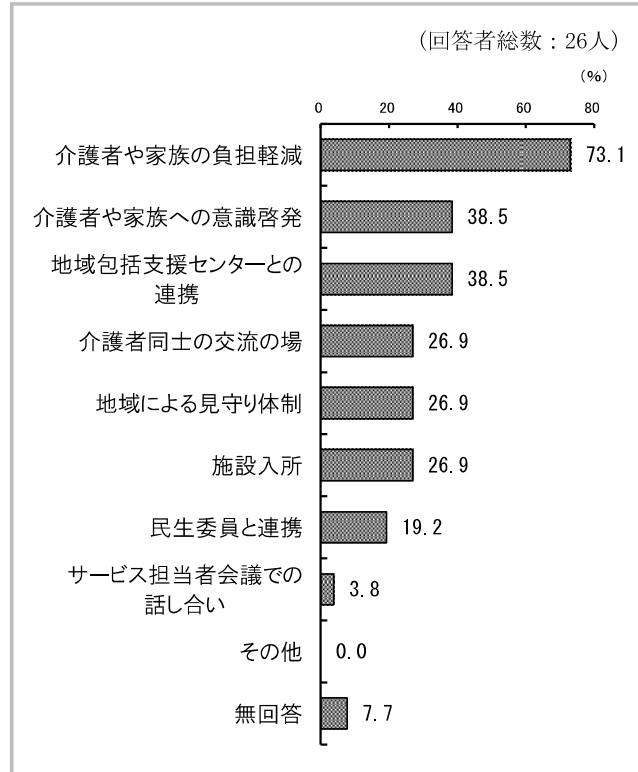
「介護者や家族の負担軽減」が73.1%

虐待防止のために特に必要だと思うことについては、「介護者や家族の負担軽減」が73.1%で、次いで「介護者や家族への意識啓発」と「地域包括支援センターとの連携」がそれぞれ38.5%となっています。

表 虐待防止のために特に必要なこと

単位：人 (%)	
回答者総数 (人)	26
項目	回答数 (構成比)
介護者や家族の負担軽減	19 (73.1)
介護者や家族への意識啓発	10 (38.5)
地域包括支援センターとの連携	10 (38.5)
介護者同士の交流の場	7 (26.9)
地域による見守り体制	7 (26.9)
施設入所	7 (26.9)
民生委員と連携	5 (19.2)
サービス担当者会議での話し合い	1 (3.8)
その他	0 (0.0)
無回答	2 (7.7)

図 虐待防止のために特に必要なこと



6 今後の要望について

(1) 行政に期待すること

問13 高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待しますか。
[主なものを3つ以内で〇]

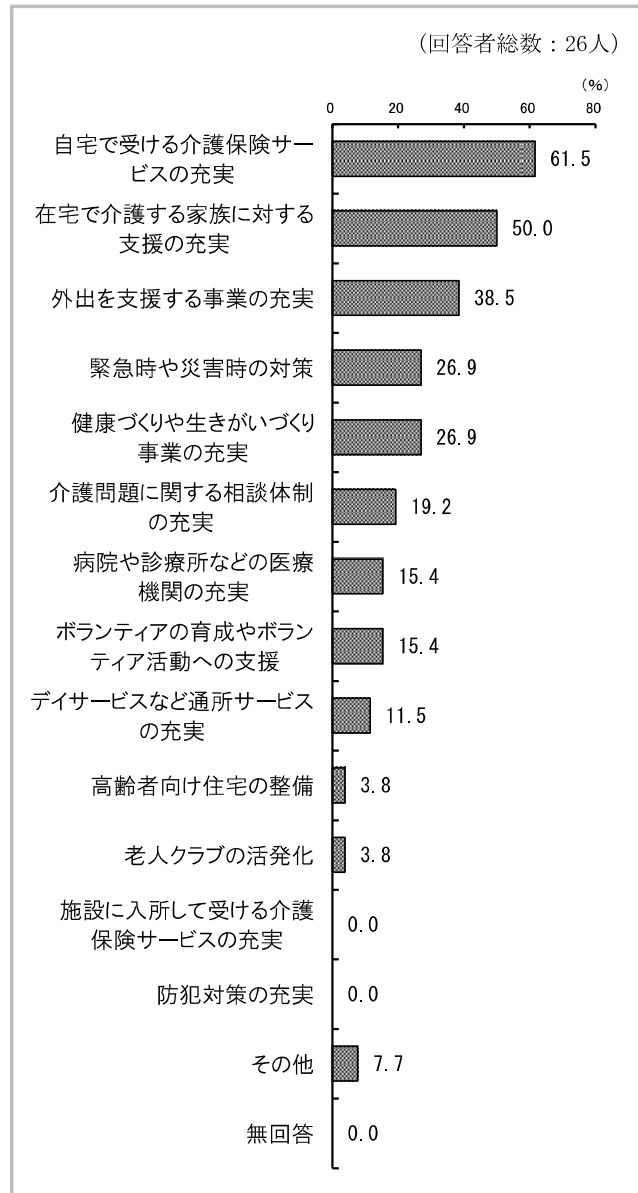
「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が61.5%

高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待するかについては、「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が61.5%で、次いで「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が50.0%、「外出を支援する事業の充実」が38.5%となっています。

表 行政に期待すること 単位：人（%）

回答者総数（人）	26
項目	回答数（構成比）
自宅で受ける介護保険サービスの充実	16 (61.5)
在宅で介護する家族に対する支援の充実	13 (50.0)
外出を支援する事業の充実	10 (38.5)
緊急時や災害時の対策	7 (26.9)
健康づくりや生きがいをづくり事業の充実	7 (26.9)
介護問題に関する相談体制の充実	5 (19.2)
病院や診療所などの医療機関の充実	4 (15.4)
ボランティアの育成やボランティア活動への支援	4 (15.4)
デイサービスなど通所サービスの充実	3 (11.5)
高齢者向け住宅の整備	1 (3.8)
老人クラブの活発化	1 (3.8)
施設に入所して受ける介護保険サービスの充実	0 (0.0)
防犯対策の充実	0 (0.0)
その他	2 (7.7)
無回答	0 (0.0)

図 行政に期待すること



7 ケアマネジャー調査のまとめ

①回答者の属性

ケアマネジャーの仕事をしてどのくらいになるかについては、「10年以上」が61.5%で、次いで「5年以上10年未満」が19.2%となっています。

②ケアプランについて

ケアプランを作成している受け持ちの人数は、平均で34.2人、白岡市分は平均23.3人となっています。受け持ち人数の内訳は、「30～39人」が34.6%、「40人以上」が23.1%となっています。

ケアプランを作成する際に何を重視するかについては、「生活状況の改善」が65.4%で、次いで「本人が希望するサービス」が61.5%、「身体状況の改善」が57.7%となっています。また、「本人の自立支援に資するサービス」は53.8%、「家族が希望するサービス」は26.9%となっています。

利用者や家族の希望に偏ることなく、介護が必要な状況を改善していくためのケアプランを提案していることがうかがえます。

③サービスに対する評価等について

白岡市における介護保険サービス事業は、利用者の需要（希望）に対して足りていると思うかについて、サービスごとにたずねました。

「十分足りている」という割合が50%を超えているのは、『居宅療養管理指導』、『福祉用具貸与』、『特定福祉用具販売』、『居宅介護住宅改修』です。

一方、「やや不足している」という割合が多かったのは『通所リハビリテーション』で80.8%、「かなり不足している」という割合が多かったのは『訪問介護』で73.1%となっています。こうしたサービスについて、提供体制の充実を図っていくことが必要です。

④地域のきめ細かい支援について

介護保険サービスや福祉サービス以外で、要介護者及び介護者の生活を支えるために手助けがあるといいと感じるものについては、「病院の付き添い」が88.5%で、次いで「ちょっとした食料品の買い物」が30.8%、「ごみ出し」が26.9%となっています。また、「ちょっとした外出の付き添い」は23.1%となっており、前回の調査結果より13.3ポイント減少しています。

白岡市の地域資源についてどの程度把握しているかについては、「十分把握している」が7.7%、「ある程度は把握している」が69.2%で、これらを合わせると把握しているという割合は76.9%となっています。

もっと連携を取りたいと思う機関・団体などについては、「医療機関」が57.7%で、次いで「ボランティア団体」が38.5%となっています。また、「市役所」、「民生委員」、「他の民間サービス事業者」がそれぞれ26.9%となっています。

ケアマネジャーとしての活動の際に感じている問題点については、「介護保険以外のサービスが少ない」が50.0%、次いで「主治医との連携が足りない」が46.2%、「提供できる介護保険サービスが少ない」が38.5%となっています。

医療との連携については、「十分に連携は取れている」が3.8%、「ある程度連携は取れている」が61.5%となっています。一方、「あまり連携は取れていない」は30.8%となっており、その理由については、「医師の介護保険制度に対する理解が少ない」が75.0%で、次いで「日程を調整することが難しい」が62.5%、「自分自身の医療的な知識が不足している」が50.0%となっています。介護と医療の連携を強化するための取組が重要となっています。

⑤虐待について

これまでに虐待が疑われるケースがあったかについては、「ある」が23.1%で、「ない」が61.5%となっています。

虐待防止のために特に必要だと思うことについては、「介護者や家族の負担軽減」が73.1%で、次いで「介護者や家族への意識啓発」と「地域包括支援センターとの連携」がそれぞれ38.5%となっています。前回の調査結果と比較すると、「地域包括支援センターとの連携」は20.3ポイント増加しており、地域包括支援センターとの連携強化が求められています。

⑥今後の要望について

高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待するかについては、「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が61.5%で、次いで「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が50.0%、「外出を支援する事業の充実」が38.5%となっています。前回の調査結果と比較すると、「外出を支援する事業の充実」は19.1ポイント減少し、「自宅で受ける介護保険サービスの充実」は10ポイント増加しています。

「外出を支援する事業の充実」が減少した背景には、新型コロナウイルス感染症の対策で外出が制限されていたことが影響していると考えられます。代わりに「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が増加していることから、近年の状況を踏まえ、在宅サービスの重要性が一層増しているとみられます。

高齢者等実態調査報告書

令和5年3月

編集・発行 / 白岡市健康福祉部高齢介護課
〒349-0292
白岡市千駄野432番地
電話 0480(92)1111(代)